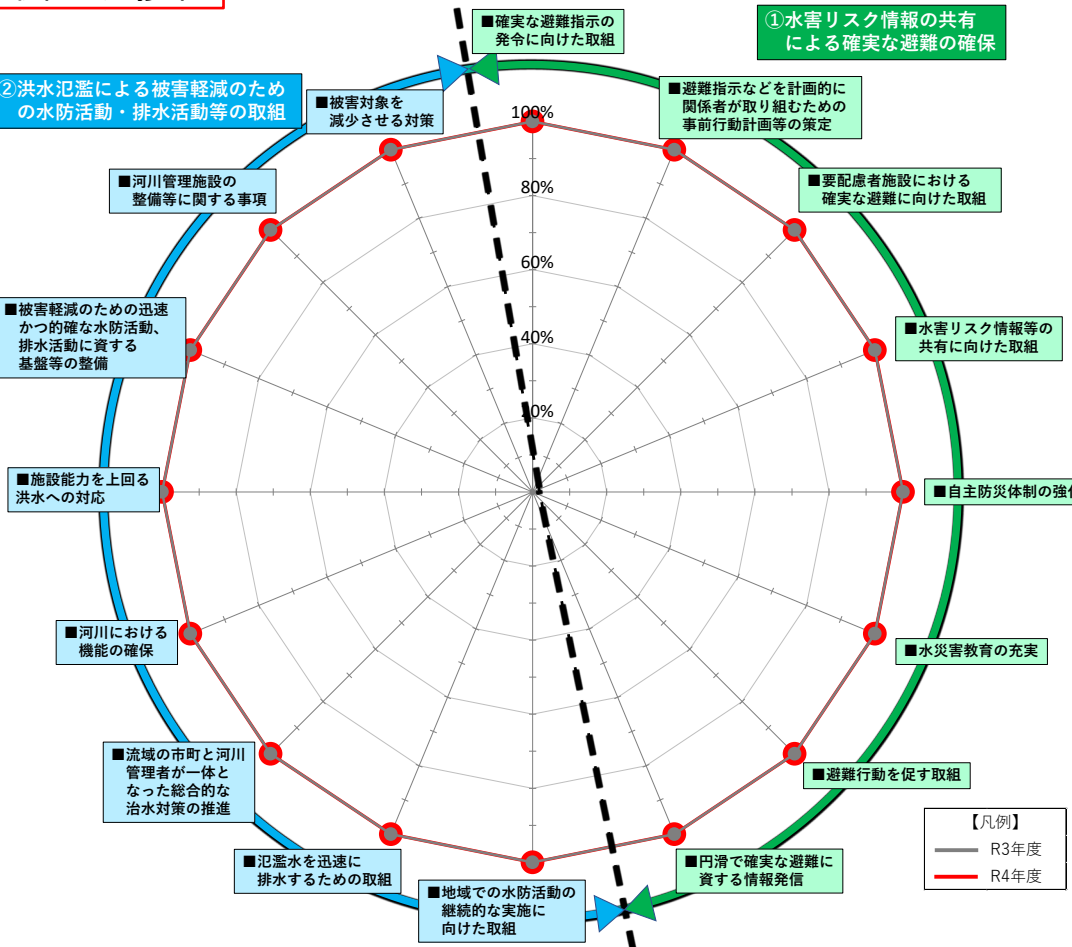


令和4年度取組状況と 令和5年度以降の取組予定

- 取組の進捗率は令和3年度時点で100%を達成、令和4年度時点で体制を維持し取組実施している。
- 令和4年度は、「出前講座によるマイ・タイムラインの推進」、「重要水防箇所への合同巡視」、「対応行動整理表に基づく勉強会実施」、「企業BCPの作成支援勉強会実施」等に取り組んでいる。
- 今後、関係機関および流域治水プロジェクトの取組との連携を図り、支援方策を継続実施していく。

取組の進捗率



● 主な取組内容 (R4年度)

○ 浜松市立佐久間中学校で防災講座を実施

防災を意識してもらうための取り組みとして、浜松市立佐久間中学校の全校生徒を対象に、「天竜川の洪水の歴史」やマイ・タイムラインに関する防災講座を実施。洪水の危険性や避難の重要性等について理解向上を図った。



浜松市立佐久間中 防災講座 (令和4年4月21日)

○ 天竜川・菊川重要水防箇所の合同巡視

洪水時の迅速な水防活動に資する情報を共有するため、国土交通省 浜松河川国道事務所では、流域の自治体職員や市水防団、消防団員、防災エキスパートと共に、洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所(重要水防箇所)の合同巡視を実施した。



天竜川・菊川重要水防箇所の合同巡視 (令和4年4月18-21日)

○ 企業BCP作成支援セミナーの実施

浸水被害の軽減・早期復旧を図るための取り組みとして、浜松市の地域経済を支える浜松商工会議所の所属企業を対象に、企業BCP作成支援の勉強会を実施しました。基本編を一回、実践編を二回の計三回実施しました。



企業BCP作成支援セミナー 基本編 (令和4年10月6日)

※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●取組5カ年のロードマップ

項目	令和4年度	取組実績	取組予定	対象外
		令和5年度	令和6年度～令和8年度	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習による、ホットライン確認の実施 等	洪水対応演習・ホットライン訓練実施、発令基準を適宜見直し 等	
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	対応行動整理表に関する勉強会実施 等	対応行動整理表の更新、洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討 等	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画作成の周知 等	施設管理者への説明会を適宜支援及び実施 等	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	対応行動整理表に関する勉強会実施 等	危機管理型水位計・河川監視用カメラ配置計画を適宜見直し 等	
	■ 自主防災体制の強化	2022年4月に重要水防箇所巡視を実施	引き続き水害リスクが高い区間等に関する情報の提供と説明会を実施 等	
	■ 水災害教育の充実	2022年4月に、中学校で水害教育の出前講座実施 等	出前講座・セミナーの開催 等	
	■ 避難行動を促す取組	マイ・タイムライン検討ツール(逃げキッド)の説明実施 等	防災に関する知識の習得や防災に関する啓発活動や防災教育などに活用できる資料作成支援 等	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	西部中東遠地域減災協議会の取組紹介パンフレットを配布	主旨が伝わりやすい情報提供の促進や情報の入手に関する広報誌等の作成・配布 等	
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	2022年4月に重要水防箇所巡視を実施	重要水防箇所の合同巡視開催、水防訓練への参加 等	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	必要に応じて排水作業準備計画の見直しを実施	必要に応じ排水作業準備計画の見直し、地域が有するポンプ等の情報把握 等	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	浸水被害軽減地区の検討を必要に応じて実施	河川整備計画等に基づく治水対策を継続実施 等	
	■ 河川における機能の確保	自治体への、河川管理の高度化の検討に関する資料の共有	河道内土砂掘削及び樹木伐採実施、国が実施するプロジェクトの情報収集及び関係機関への情報提供 等	
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	危機管理型ハード対策の検討の継続実施	ハード対策の継続実施	
	■ 被害軽減のための迅速かつ確かな水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	2022年6月に堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施	河川防災ステーションの整備、水位等の情報を関係機関と共有するための施設整備 等	
■ 河川管理施設の整備等に関する事項	利水ダムを含めたダムの洪水調節機能強化検討	ダムの洪水調節機能強化のため治水協定締結及び実施要領策定		
■ 被害対象を減少させる対策	被害対象を減少させるための支援	被害対象を減少させるための支援を継続実施する。		

●令和5年度の取組予定

■天竜川下流、菊川の流域一体型タイムライン作成に向けた意見交換会を実施



流域一体型タイムライン作成に向けた意見交換会

流域一体型タイムラインの検討のため、天竜川下流域と菊川流域の浸水特性などを関係機関で再確認した上で、流域一体型タイムラインに係る防災行動等について意見交換を実施予定です。

■出水期前に洪水時の所内体制を確認するため、洪水対応演習を開催

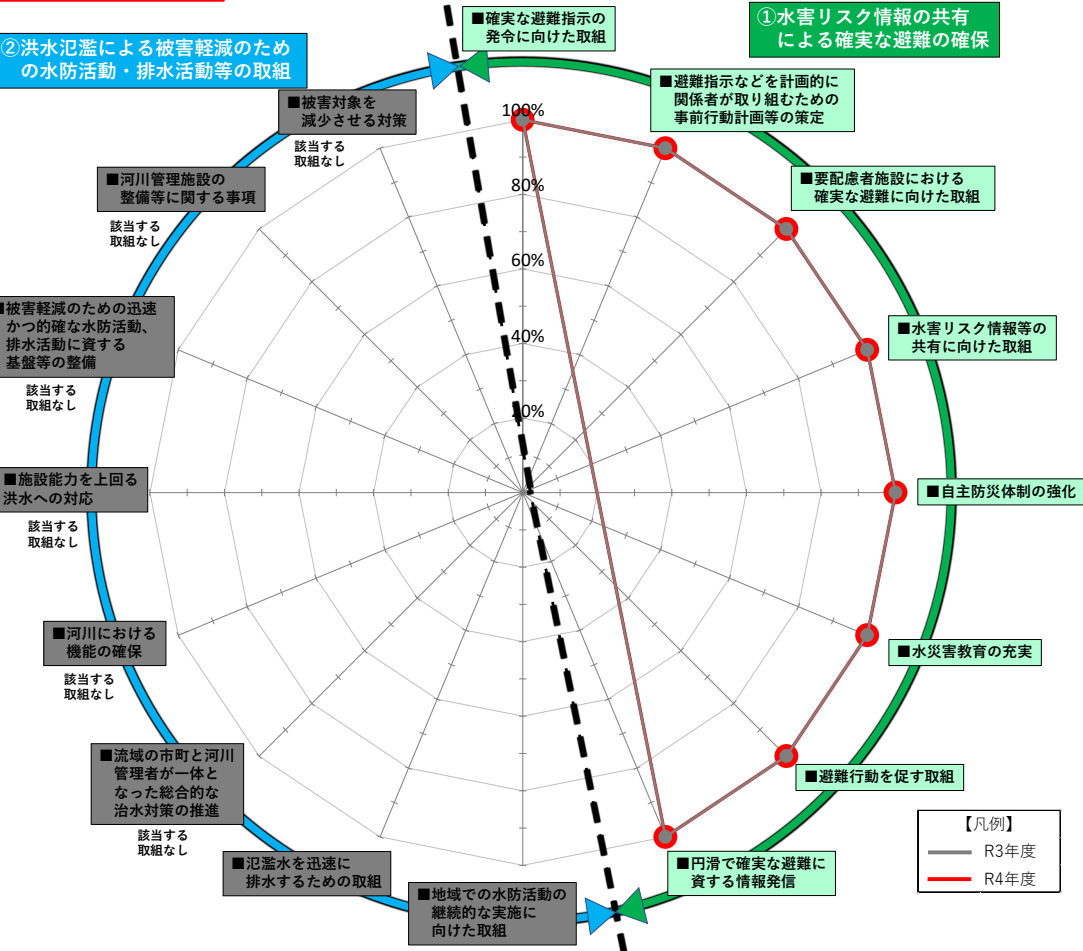


洪水対応演習

確実な避難指示の発令に向けた取組として、洪水対応演習を継続実施し、洪水時の防災体制の確認する予定です。

- 取組の進捗率は令和3年度時点で100%を達成し、令和4年度時点で体制を維持し取組実施している。
- 令和4年度は、「マイ・タイムライン」作成の推進とともに、より簡便で、様々な災害リスクに対応する「わたしの避難計画」の普及について重点的に実施し、早期避難の意識醸成と災害時の避難行動の明確化を図った。
- また、令和4年台風第15号への対応に関し、被災情報の確認や集約に課題がみられたことから、県と市町が共に「ふりかえり」を行う連絡会議を実施し、課題の共有と今後の災害発生に備えた対応策を確認し、連携の強化を図った。

取組の進捗率



● 主な取組内容 (R4年度)

○ 「わたしの避難計画」の普及

- ・「わたしの避難計画」の普及を図るため、パソコン・スマートフォンから簡単に入力・作成できるサイトを作成。
- ・県立学校防災担当教諭を対象とした研修会を賀茂、東部、中部、西部の4地区で実施。

「わたしの避難計画」作成サイトができました

「わたしの避難計画」作成サイトができました!!

わたしの避難計画について?

- ・災害が起こった時、早く・安全に避難するために、「いつ」「どこ」に避難するかを事前に決めておくことが重要です。
- ・パソコン・スマートフォンから簡単に入力・作成できます。
- ・パソコンでは、事前に「わたしの避難計画」をダウンロードして、スマートフォンで検索、スマートフォンでは以下二次元コードから作成できます。

作成サイトのちらし

ちらし(子ども向け)



学校防災担当者研修会(賀茂地域) (令和4年11月18日)

○ 令和4年台風第15号への対応に関する「ふりかえり」

台風第15号への対応において、孤立集落の被災情報の確認や収集に課題が見られたことから、県と市町が共に「ふりかえり」を行うため、危機管理担当幹部職員による「連絡会議」を実施し、課題の共有と今後の災害発生に備えた対応策を確認し、連携の強化を図った。



令和4年台風第15号への対応に関する連絡会議(令和4年11月30日)

※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

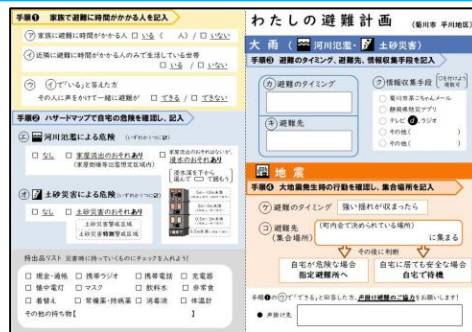
●取組5カ年のロードマップ

項目	取組実績			取組予定			対象外		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	避難指示等発令の判断、マニュアル作成・検証に関する助言	避難指示等発令の判断、マニュアル作成・検証に関する助言						
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	タイムライン導入や検証に関する助言	タイムライン導入や検証に関する助言						
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画の作成、避難訓練の実施に関する助言	避難確保計画の作成、避難訓練の実施に関する助言						
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	ハザードマップの作成・周知に関する助言	ハザードマップの作成・周知に関する助言						
	■ 自主防災体制の強化	自主防と情報共有を図るための「見える化機能」の運用開始	自主防災組織への情報提供や活動支援						
	■ 水災害教育の充実	「ふじのくに防災士」の養成	「ふじのくに防災士」の養成						
	■ 避難行動を促す取組	「わたしの避難計画」サイト作成・研修会、「マイ・タイムライン」助言	「わたしの避難計画」、「マイ・タイムライン」の普及						
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	投稿機能の運用開始、情報発信	防災アプリ「静岡県防災」による情報発信						
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組								
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組								
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進								
	■ 河川における機能の確保								
	■ 施設能力を上回る洪水への対応								
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備								
■ 河川管理施設の整備等に関する事項									
■ 被害対象を減少させる対策									

●令和5年度の取組予定

■ 避難行動を促す取組
「わたしの避難計画」、「マイ・タイムライン」について引き続き普及を図っていく

市町と連携し引き続き普及を図っていく。また、普及が円滑に進むよう地域での普及人材の育成を図るとともに、周知啓発を実施していく。



わたしの避難計画(菊川市)の例

■ 避難行動を促す取組
防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上

引き続き、防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上を図るとともに、情報集約機能の向上を目指していく。



防災アプリ「静岡県防災」

- 水防災意識社会再構築ビジョンに基づく当該対象の取組は、令和4年度末時点で継続実施をしている。
- 令和4年度は、「施設管理者等への理解促進」、「避難確保計画の作成促進」に取り組んでいる。
- 引き続き、当該対象の取組を継続するとともに、関係機関と連携を図り、支援方を継続実施していく。

● 主な取組内容 (R4年度)

○ WEBを活用した社会福祉施設等職員防災研修会の実施

施設職員の防災意識の向上や知識の習得を図り、施設の防災対策力を高めることを目的とし、例年行っている施設職員向けの研修を動画で配信。

【研修内容】

要配慮者利用施設の避難訓練についての説明、地震防災アドバイザーによる講演 等

○ 社会福祉法人等の指導監査

社会福祉法等に基づく指導監査において、防災管理体制や防災訓練の実施状況をチェックリストを活用し、書面及び電話で確認、指導。

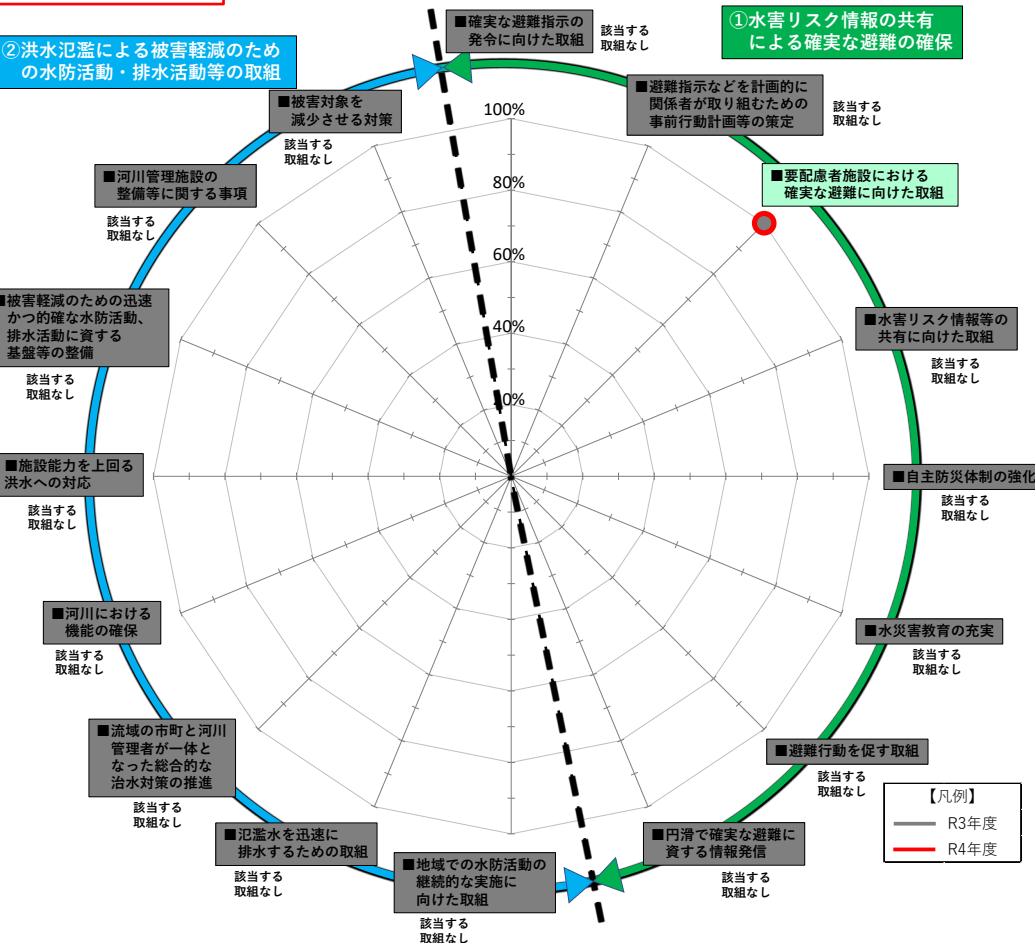
○ 避難行動要支援者の避難支援対策等に係る意見交換会

危機管理部、交通基盤部と連携して、市町防災、福祉担当職員に対して意見交換会を実施。

○ 浸水区域・土砂災害警戒区域内要配慮者利用施設の支援

洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域内に立地する社会福祉施設が行う避難確保計画の策定や浸水対策資材等の整備を支援。

取組の進捗率



取組実績

取組予定

対象外

●取組5カ年のロードマップ

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組			
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定			
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	社会福祉施設等職員向け防災研修会 等	施設職員向け研修会、市町職員との意見交換会を実施 等	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組			
	■ 自主防災体制の強化			
	■ 水災害教育の充実			
	■ 避難行動を促す取組			
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組			
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組			
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進			
	■ 河川における機能の確保			
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ確かな水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策				

●令和5年度の取組予定

■ 社会福祉施設等職員防災研修会の実施

・ 施設職員の防災意識の向上や知識の習得を図り、施設の防災対策力を高めることを目的とし、例年行っている施設職員向けの研修を動画で配信。

【研修内容】

要配慮者利用施設の避難訓練についての説明、地震防災アドバイザーによる講演 等

■ 社会福祉法人等の指導監査

・ 社会福祉法等に基づく指導監査において、防災管理体制や防災訓練の実施状況をチェックリストを活用し、書面及び電話で確認、指導。

■ 避難行動要支援者の避難支援対策等に係る意見交換会

・ 危機管理部、交通基盤部と連携して、市町防災、福祉担当職員に対して意見交換会を実施。

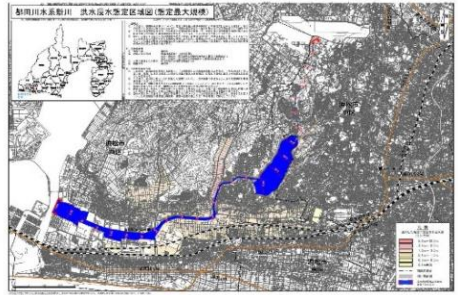
- 取組の進捗率は令和3年度時点で100%を達成、令和4年度時点で体制を維持し取組実施している。
- 水害リスク情報等の共有に向けた取組として、水防法指定河川以外の河川についても、洪水浸水想定区域図の作成を行っている。
- 水災害教育の充実に関する取組として、コロナ禍においても住民に豪雨災害に対する危機意識を持ち続けて頂くため、「事前に備える防災講座」をYouTubeの県公式チャンネルで発信している。
- また、リスク情報の正しい理解等について、市町防災担当職員を対象とした研修会や意見交換会を実施した。

● 主な取組内容(R4年度)

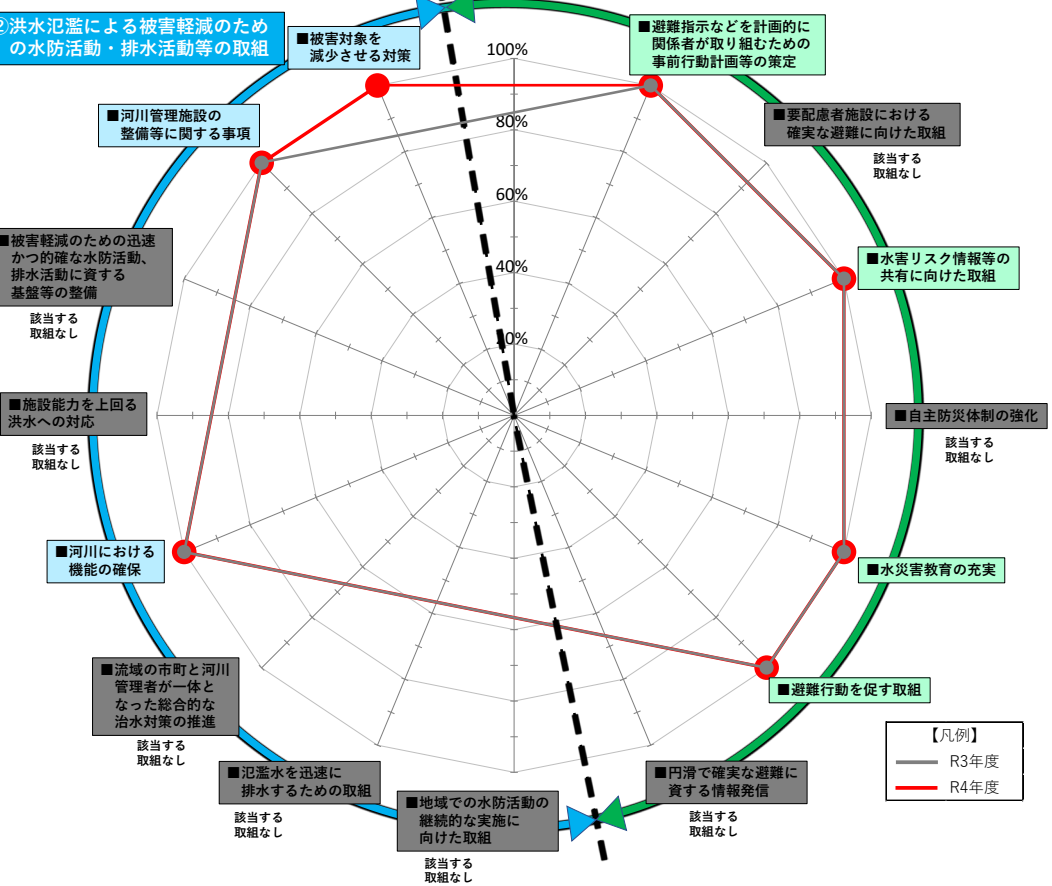
○洪水浸水想定区域図(洪水浸水が想定される範囲を示す図面)を作成
洪水予報河川、水位周知河川以外の中小河川の洪水浸水想定区域図の作成により、住民に浸水リスクを周知するとともに、市町が作成するハザードマップへの反映を促していく。

●令和4年6月30日公表
浜松土木管内:新川ほか11河川
袋井土木管内:倉真川ほか48河川

●作成中
浜松土木管内:堀留川ほか3河川
袋井土木管内:蟹田川ほか19河川



取組の進捗率



○コロナ禍における防災対策「事前に備える防災講座」

- ・水災害リスク情報や避難方法等をテーマとした動画を作成し、YouTube(ユーチューブ)で公開
 - ・動画のQRコードを掲載したチラシを作成し、配架
- ★令和2年度から実施
現在9本の動画を公開
★継続して動画を作成



○市町防災職員向けの研修会・意見交換会を開催

地域防災力向上に関する市町の取組を支援するため市町職員を対象に河川事務等の研修会や意見交換会を実施

- ・水害・土砂災害防止対策の推進に関する意見交換会 (令和4年5月~6月)
- ・市町の建設・防災担当者との意見交換会 (袋井土木管内:令和4年8月18日)
- ・河川関係事務研修会(令和4年9月)



※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

取組実績

取組予定

対象外

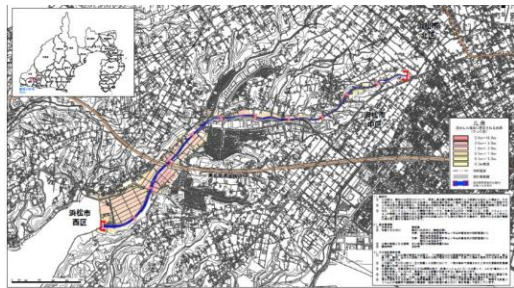
●取組5カ年のロードマップ

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	県管理河川のダムの機能や効果、操作に関する情報を流域住民等へ周知 等	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組		
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	洪水予報河川、水位周知河川以外の中小河川の洪水浸水想定区域図の作成・公表	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図の作成 等
	■ 自主防災体制の強化		
	■ 水災害教育の充実	「事前に備える防災講座」の動画を作成し、YouTubeで公開	効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ情報や、浸水リスクを周知するための啓発資料の作成・活用
	■ 避難行動を促す取組	「事前に備える防災講座」としてマイタイムラインを紹介する動画をYouTubeで公開	マイ・タイムラインの推進
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信		
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組		
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		
	■ 河川における機能の確保	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等を実施	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全 等
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確かな水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
■ 河川管理施設の整備等に関する事項	太田川ダムの事前放流運用に伴うダム操作細則を一部改正	ダムの柔軟な運用	
■ 被害対象を減少させる対策		宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	

●令和5年度の取組予定

■ 洪水浸水想定区域図の作成
洪水浸水想定区域図を作成し
水害リスク情報空白域の解消
を図る

・55河川(袋井土木:13河川、
浜松土木:42河川)の洪水浸水
想定区域図を作成



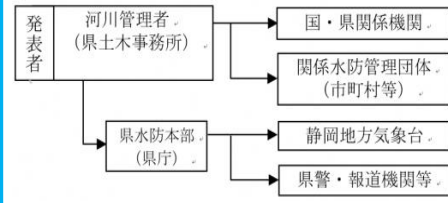
- 「事前に備える防災講座」の作成・周知・活用
YouTube動画の充実、出前講座等での周知・活用
- 市町防災職員向けの研修会・意見交換会の開催
- 水害危険性の周知促進(浸水ナビや静岡県GISに浸水想定区域の情報を掲載 等)
- マイ・タイムラインの推進 等

- 取組の進捗率は令和3年度時点で100%を達成し、令和4年度時点で体制を維持し取組実施している。
- 令和4年度は、「洪水対応演習(情報伝達訓練)の実施」、「円滑で確実な避難に資する情報発信(サイポスレーダー新コンテンツ実装)」等に取り組んでいる。
- 引き続き、当課対象の取組を継続するとともに、関係機関との連携を図り、支援方を継続実施していく。

● 主な取組内容(R4年度)

○ **ホットラインや洪水対応演習等の情報伝達訓練の充実**
 出水期前に水防警報等の情報を迅速かつ的確な伝達体制に万全に期すことを目的に、県管理河川を対象とする洪水対応演習を実施した。

【訓練実施日時】
 令和4年5月23日(月)
 8時30分から16時30分
 【情報伝達系統】



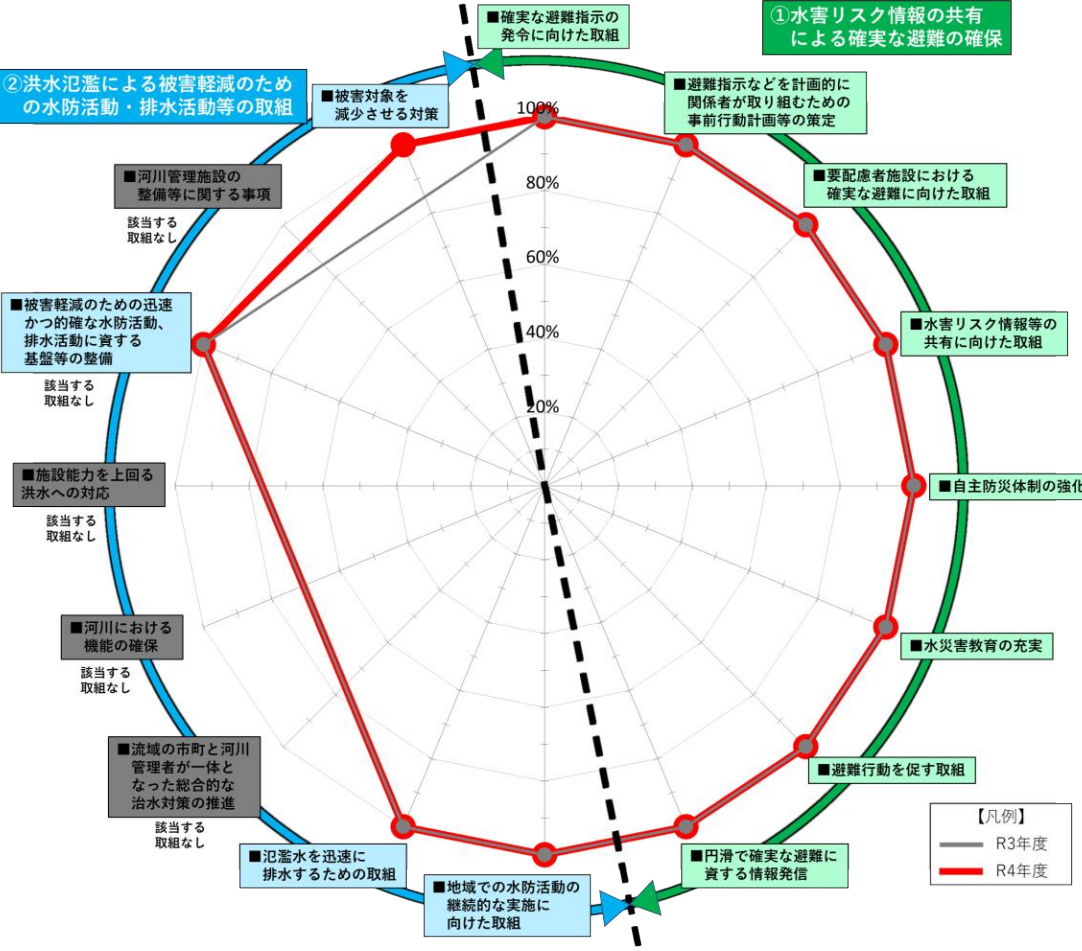
(県水防本部: 訓練状況)

○ **円滑で確実な避難に資する情報発信**
 サイポスレーダースマートフォン版に、新コンテンツ(英語サイト、ポルトガル語サイト、やさしい日本語サイト)を実装した。



(英語) (ポルトガル語) (やさしい日本語)

取組の進捗率



※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会 今後5カ年のロードマップ

県 土木防災課

取組実績

取組予定

対象外

●取組5カ年のロードマップ

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習実施 (R4.5.26)	ホットラインや洪水対応演習等の情報伝達訓練の充実
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	支援体制継続	タイムラインの導入の推進及び訓練による検証
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	説明会等を実施 (R4.12.14他)	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援 (説明会等)
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	観測データ蓄積、保守点検実施	危機管理型水位計・河川監視用カメラ等の設置検討、見直し、適切な保守点検を実施
	■ 自主防災体制の強化	重要水防個所等を水防計画書及び県GISにて公表	水害リスクが高い区間などに関する情報提供と説明会の開催
	■ 水災害教育の充実	「事前に備える防災講座」の動画を作成し、YouTubeで公開	浸水リスクを周知するための啓発資料の作成、既存資料の更新
	■ 避難行動を促す取組	SIPOSにて、雨量・水位等のリアルタイム情報の提供を継続	県庁見学会等を活用し、住民向けの防災情報の提供
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	SIPOSスマートフォン版に多言語化サイトを追加 (R4.4.1)	住民の避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防団の活動実績等の県HPへの掲載 (浜松市、森町)	水防訓練や水防演習等の実施による水防団等との連携
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	建設会社等のポンプの保有数を集計し、共有	地域が有するポンプ等 (建設会社等) の活用に向けた情報の整理と共有
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		
	■ 河川における機能の確保		
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	正確な水位等の情報を関係機関と提供、保守点検実施	円滑な水防活動のため橋梁等への簡易水位計・量水標の設置検討、適切な保守点検を実施
■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策		宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	

●令和5年度の取組予定

■ 水災害教育の充実、避難行動を促す取組

- ・県庁見学会等を活用し、水害リスクや情報の入手方法等を説明する。
- ・コロナ禍におけるWebを活用した、啓発動画等の作成、更新を行う。



(平成30年度県庁見学会の様子:土木防災情報センター)

■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援として、避難確保計画の作成に至る経緯、必要性、訓練実施等について、市町関係職員等に説明会を実施する。(コロナ禍におけるWebを活用した動画配信)
- ・市町が施設管理者等へ説明会を実施する際に、水害リスク情報について説明する講師として職員を派遣し支援する。

- 水防災意識社旗再構築ビジョンに基づく取組の進捗率は、令和3年度末時点で100%に達成した。
- 引き続き、当協議会における避難や水防対策等の取り組みを継続するとともに、関係機関と連携を図り、支援方策を継続実施していく。
- また、当協議会における防災・減災における体制を維持し、より一層強固とするため、「流域治水プロジェクト」の取組内容と連携を図っていく。

● 主な取組内容(R4年度)

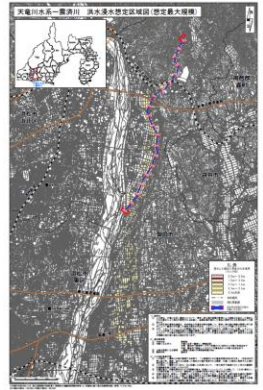
○ 水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 想定最大規模の洪水に係る
浸水想定区域図等の作成

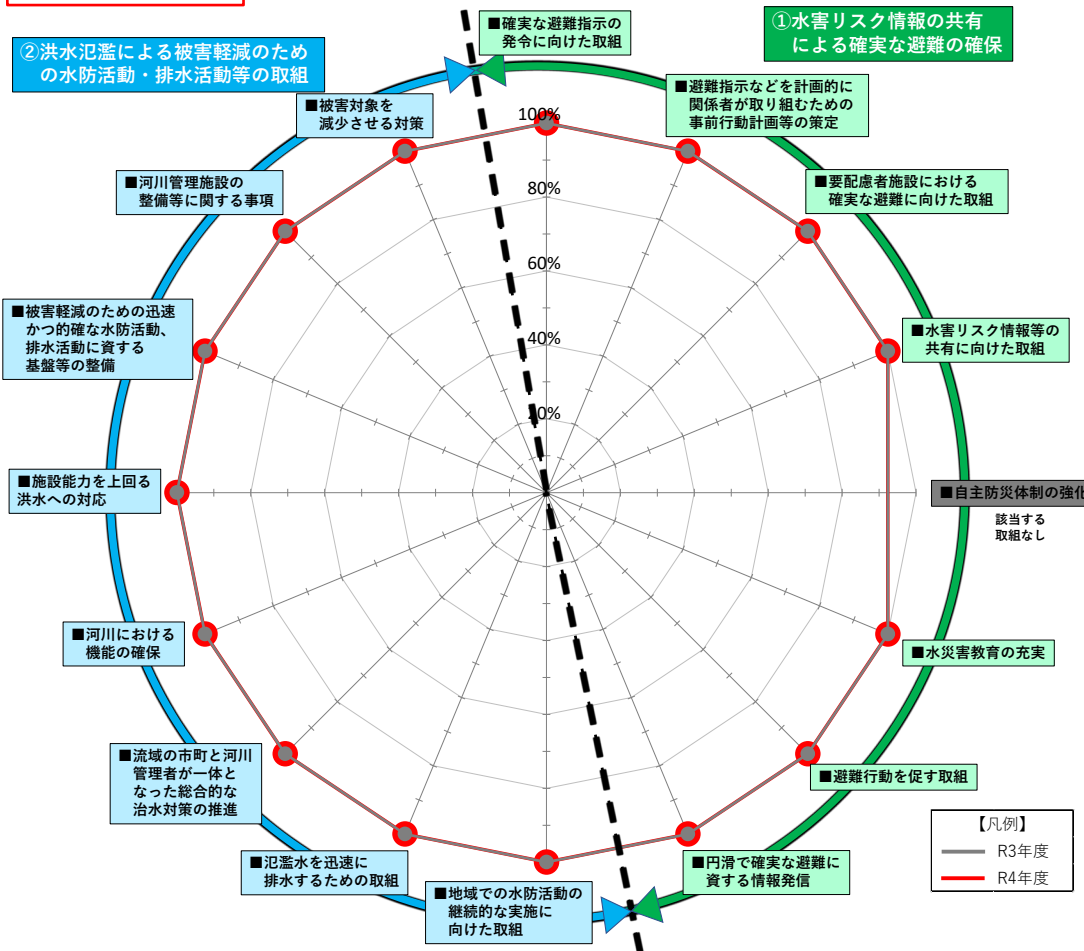
【実施内容】

- ・「一雲済川など洪水浸水想定区域図」を公表
(管内 7水系50河川)【R4.6.30】
- ・「江川など洪水浸水想定区域図」を公表予定
(管内 4水系20河川)【R5.3末予定】

天竜川水系一雲済川洪水浸水想定区域図
(R4.6.30公表)



取組の進捗率



○ 施設能力を上回る洪水への対応

【実施内容】

- ・太田川など築堤河川を対象に、堤防決壊までの時間を引き延ばし、越水に対して堤防が粘り強くなるための堤防舗装工事を実施



【施工事例】(二)太田川
〔袋井市中〕

○ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

【実施内容】

- ・掛川市及び掛川市民の円滑な水防活動の実現に向け、過去に床上浸水被害が発生した(二)垂木川を対象に、危機管理型水位計を設置



【施工事例】(二)垂木川〔掛川市下垂木〕

※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●取組5カ年のロードマップ

項目		取組実績			取組予定			対象外
		令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習の実施	洪水対応演習・ホットライン訓練実施 等					
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定		必要に応じた情報通信機器の更新、避難マニュアル等の見直し支援 等					
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組		施設管理者への説明会を適宜支援 等					
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	洪水浸水想定区域図の作成等	洪水浸水想定区域図の作成、必要に応じた市町へのリエゾン派遣 等					
	■ 自主防災体制の強化							
	■ 水災害教育の充実	出前講座の実施 等	出前講座の継続実施 等					
	■ 避難行動を促す取組	サイボスレーダーを活用した雨量・水位に係るリアルタイム情報の提供等						
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	サイボスレーダーの周知・普及 等						
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防訓練への参加	重要水防箇所の合同巡視開催、水防訓練への参加 等					
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組		災害協定を締結する協力業者に対する保有機材調査及び管内市町への情報共有 等					
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	治水対策の加速化	河川整備計画等に基づく治水対策を継続実施 等					
	■ 河川における機能の確保	河川パトロール等の実施	河川パトロール、校庭貯留施設を対象とした学校関係者との合同点検の実施 等					
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	堤防舗装工事等の実施	粘り強い堤防化の推進 等					
	■ 被害軽減のための迅速かつ確かな水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	危機管理型水位計の設置	危機管理型水位計の設置 等					
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項		事前放流の実施をはじめとする太田川ダムの柔軟な運用 等					
	■ 被害対象を減少させる対策	LP測量による土砂災害警戒区域の新規抽出	LP測量による土砂災害警戒区域の新規抽出 等					

●令和5年度の取組予定

■流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進

河川整備計画等に基づく治水対策を継続実施。令和4年9月台風15号で被災を受けた敷地川において、改良復旧事業等を実施し、治水事業の加速化を図る



二級河川敷地川[磐田市敷地]

■水災害教育の充実

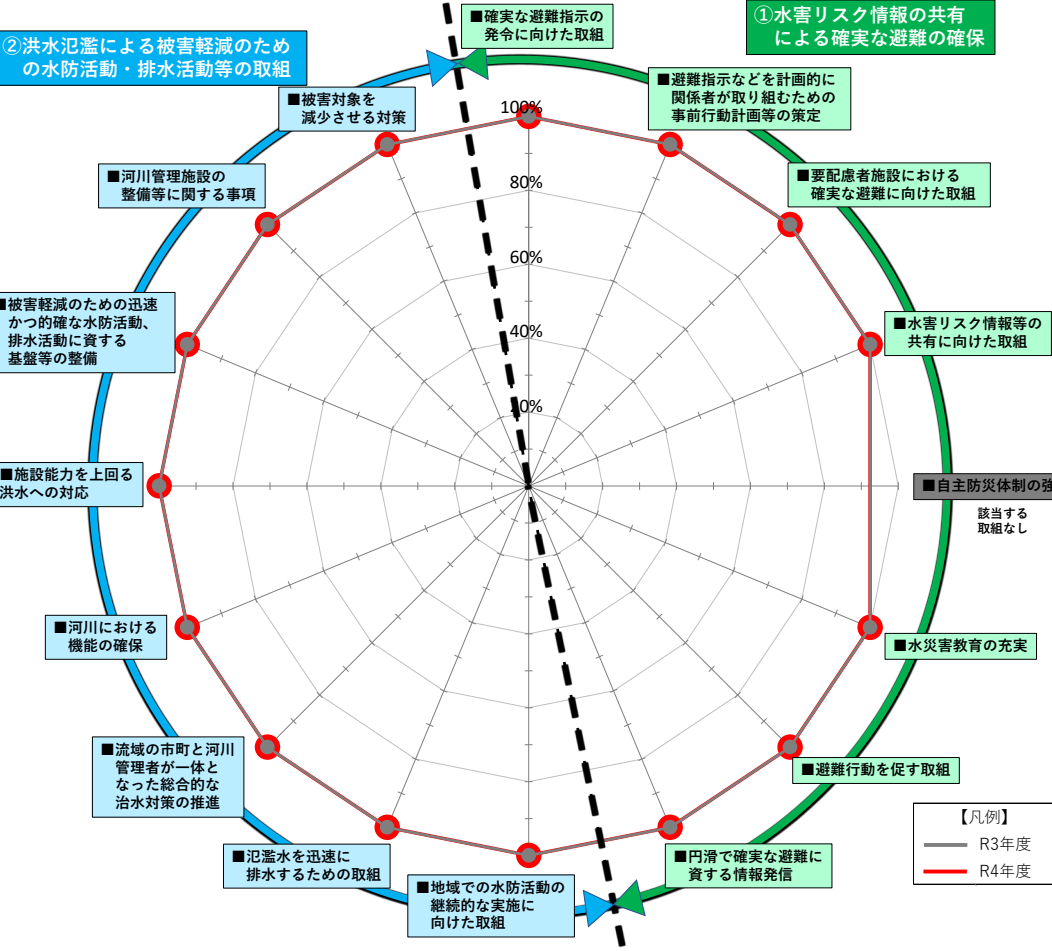
学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充・支援体制の構築



今井小学校_出前講座開催状況(R3.6.7)

- 取組の進捗率は令和3年度時点で100%を達成、令和4年度時点で体制を維持し取組実施している。
- 令和4年度は、出前講座を開催し、過去の水害や洪水時のリスク等を学び、生徒に地元の河川についての理解を深めてもらうよう取り組んでいる。
- 台風第15号等の対応を踏まえ、関係機関と連携を図り、住民避難にかかる支援方を継続実施していくとともに、管理河川の破堤時の対応訓練を強化していく。

取組の進捗率



● 主な取組内容 (R4年度)

○ 学校と連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の取組
小中学校の出前講座の要請を受け、学校側と相談しながら授業の内容を設定し、リスクコミュニケーションを行った。



八幡中学校出前講座 (R4.6.17)



笠井小学校出前講座 (R4.10.11)

○ SNSを活用した水害リスク情報等の共有に向けた取組

Instagramを活用し、水害情報の活用に係る広報や台風等接近時の注意喚起等を行った。



HAMADO_SHIZUOKA (R4.7.1開設)



○ 台風第15号等を踏まえたタイムラインの見直し

令和3年度に作成した中小河川等の破堤対応タイムラインについて、令和4年9月2日の豪雨や台風第15号における水害対応を踏まえ、見直しを実施する。

※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

取組実績

取組予定

対象外

●取組5カ年のロードマップ

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習等を実施	ホットラインや洪水対応演習等の情報伝達訓練の充実
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	台風15号等を踏まえた検証を実施	タイムラインの導入の推進及び訓練による検証、職員の誰もが水害対応できるチェックリストの作成
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	施設管理者等への理解促進	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	河川監視用カメラ1基を整備	危機管理型水位計・河川監視用カメラ配置計画の整備及び見直しの実施、水害危険性の周知促進
	■ 自主防災体制の強化		
	■ 水災害教育の充実	出前講座を実施	学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充・支援体制の構築
	■ 避難行動を促す取組	出前講座を実施	雨量や水位に係るリアルタイム情報の提供、出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会・訓練の充実
■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	SNSの活用、SIPOS広報チラシの配布	水害時の情報入手のしやすさ・分かりやすさを支援するための広報活動の実施	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防活動や緊急復旧活動に活用する資材の充実の検討	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練を実施	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	堀留川水門等の整備を実施	河川整備計画等に基づく治水対策の着実な推進
	■ 河川における機能の確保	気田川等で河道掘削を実施	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	粘り強い堤防化の推進 等	
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	円滑な水防活動のため橋脚等への簡易水位計・量水標設置	
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項	都田川ダム事前放流に係る伝達様式等の整理	ダムの柔軟な運用
■ 被害対象を減少させる対策	出前講座を実施	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等)	

●令和5年度の取組予定

■避難行動を促す取組

令和5年度に洪水浸水想定区域図を公表する予定の河川で水防災講座を開催する

- ・洪水浸水想定区域図公表時、自治会長を対象にリスク情報の説明会を実施。
- ・説明会では、避難に係る課題が挙がり、マイタイムラインの作成等により課題に取り組む。



■中小河川破堤時の対応にかかる図上訓練等の開催

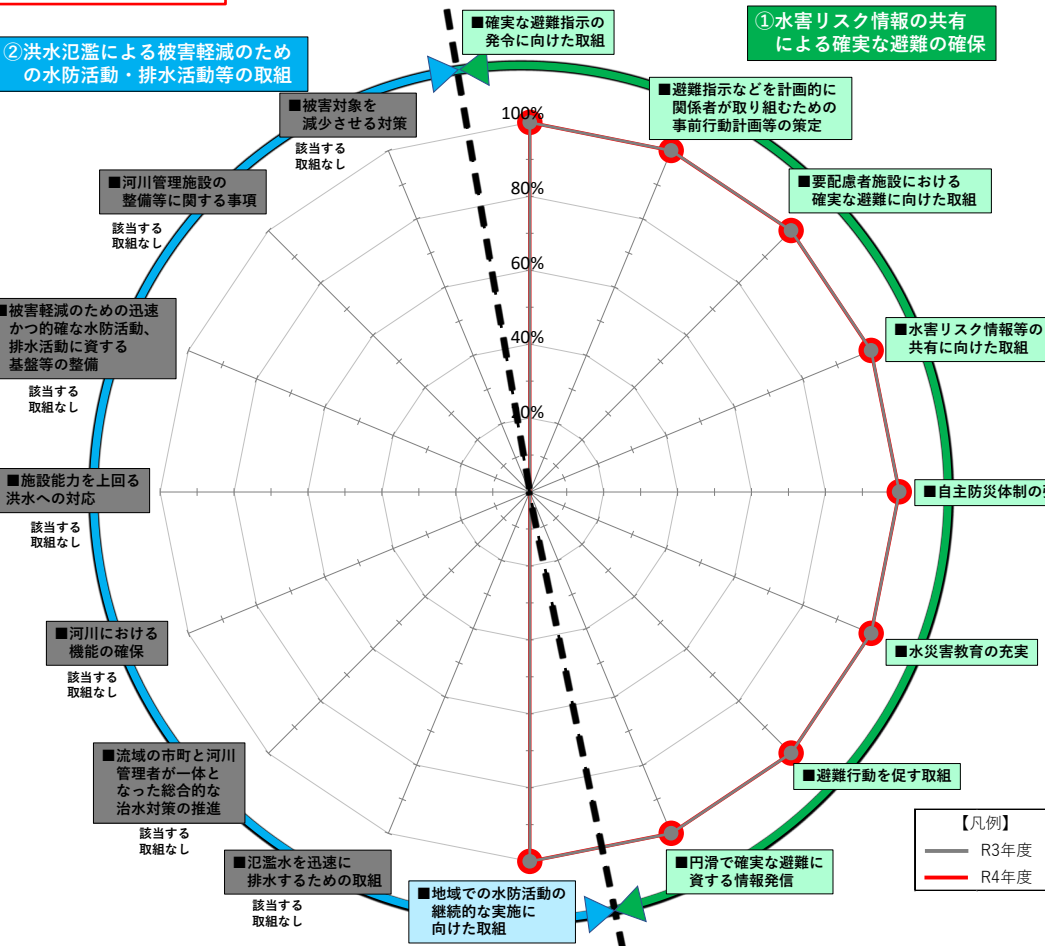
中小河川破堤対応の図上訓練やタイムラインに係る勉強会を開催する。

- ・令和3年度から導入した中小河川の破堤を想定した図上訓練の実施。(テックフォースと連携)
- ・タイムラインを活用した破堤時の対応の習熟に係る勉強会の実施。



- 取組の進捗率は令和3年度時点で100%を達成、令和4年度時点で体制を維持し取組を実施している。
- 令和4年度は、学校や自治体に対し、防災ワークショップや出前講座を実施している。
- 今後も、関係機関および流域治水プロジェクトの取組との連携を図り、支援方を継続実施していく。

取組の進捗率



● 主な取組内容(R4年度)

○ 大雨ワークショップや出前講座の実施

気象情報の使い方などについて、中学校では大雨ワークショップ、小学校では出前講座を実施している。



○ 防災ワークショップや出前講座の実施

自治体の防災担当者を対象に、防災ワークショップや出前講座を実施している。



○ その他

観測測器を設置させていただいている学校では、出前講座などの時に観測測器(実機)を紹介している。



●取組5カ年のロードマップ

項目		取組実績		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習、ホットライン訓練実施 等	洪水対応演習、ホットライン訓練実施 等	
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討 等	洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討 等	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	施設管理者への説明会を適宜実施 等	施設管理者への説明会を適宜実施 等	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	気象庁HPの改善 等	気象庁HPの改善 等	
	■ 自主防災体制の強化	自主防災組織への説明会を適宜実施 等	自主防災組織への説明会を適宜実施 等	
	■ 水災害教育の充実	ワークショップ・出前講座を適宜実施 等	ワークショップ・出前講座を適宜実施 等	
	■ 避難行動を促す取組	気象情報や防災に関する啓発活動を適宜実施 等	気象情報や防災に関する啓発活動を適宜実施 等	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	情報の見方や入手方法の啓発活動を適宜実施 等	情報の見方や入手方法の啓発活動を適宜実施 等	
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防訓練への参加 等	水防訓練への参加 等	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組			
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進			
	■ 河川における機能の確保			
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
	■ 被害対象を減少させる対策			

●令和5年度の取組予定

■自治体の防災担当者の支援

・自治体の防災担当者は、防災担当が初めてという職員も多いため、気象情報の利活用や、防災対応の習得を目指すため、防災ワークショップを実施する。



■学校防災の支援

・中学校では生徒に大雨ワークショップ、小学校では先生を対象に、出前講座を実施。気象情報の意味や入手方法、ハザードマップの見方などを啓発することで、生徒の自助行動に繋げる。



●主な取組内容(R4年度)

○住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供

- 天竜川水系(佐久間ダム・水窪ダム・秋葉ダム・船明ダム)のダム諸量データを川の防災情報上で公開(R3全ダム公開済)



○関係機関が連携した実働水防訓練の実施

- 秋葉ダム下流の西川地区において、防水門扉操作・排水設備操作の実働訓練を毎年1回実施
 <令和4年度実績>
 実施日: 令和4年5月19日
 参加者: 龍山協働センター、地元住民、J-POWERグループ社員



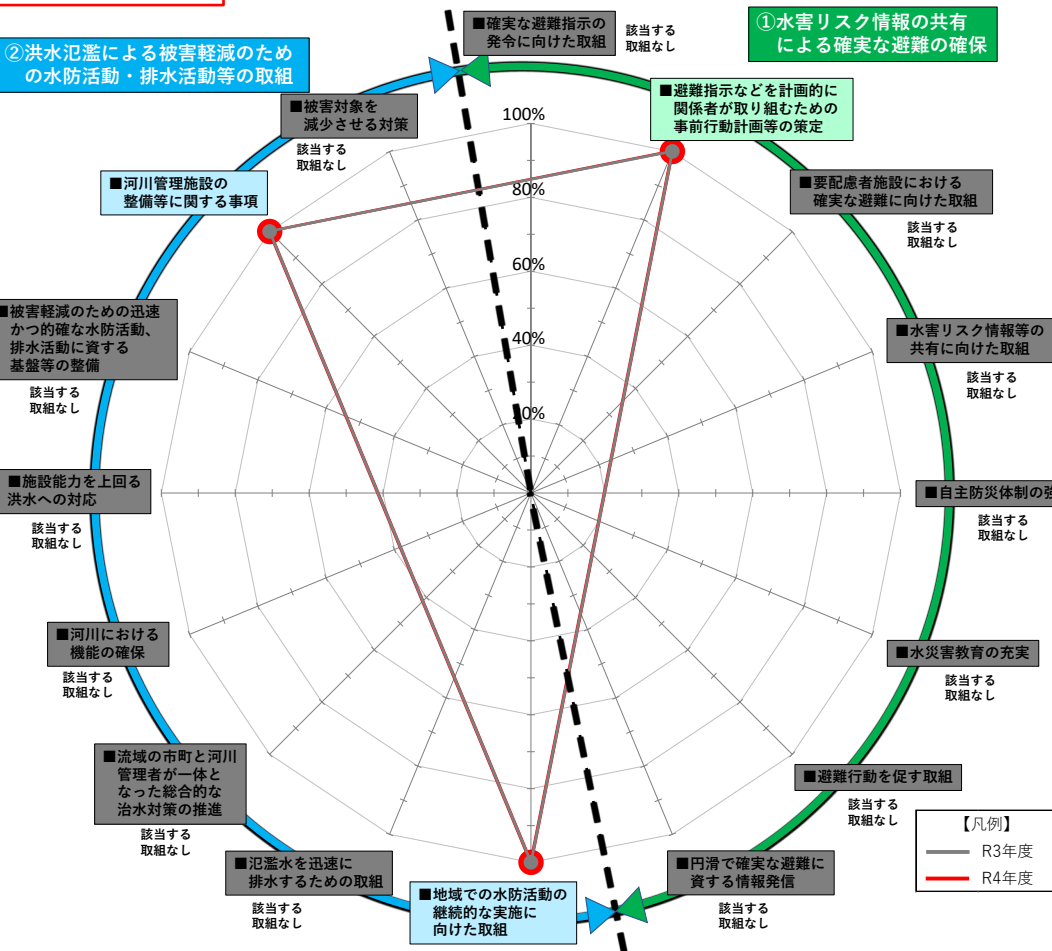
(西川地区防災訓練)

○ダムの柔軟な運用への協力

- 国土交通省が設置する天竜川水系(下流)洪水機能調節協議会に参画
- 出水時において事前放流実施要領に基づくダム運用を実施(※事前放流の対象にはならず)

- R1年度から参画しており、R4は以下の取り組みを実施した
- 天竜川水系(佐久間ダム・水窪ダム・秋葉ダム・船明ダム)のダム諸量データを川の防災情報上で公開
 - 秋葉ダム下流の西川地区において、防水水門扉操作・排水設備操作の実働訓練を毎年1回実施
 - 国土交通省が設置する天竜川水系(下流)洪水機能調節協議会に参画
 - 出水時において事前放流実施要領に基づくダム運用を実施

取組の進捗率



※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●取組5カ年のロードマップ

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組			
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供(天竜川水系ダム諸量データの川の防災情報への公開(継続))	住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供(天竜川水系ダム諸量データの川の防災情報への公開(継続)) ダムの機能や効果、操作に関する情報周知(天竜川水系ダム放流説明会の開催(2年に1回))	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組			
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組			
	■ 自主防災体制の強化			
	■ 水災害教育の充実			
	■ 避難行動を促す取組			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信			
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	関係機関が連携した実働防災訓練の実施(西川地区防災訓練の開催(毎年))	関係機関が連携した実働防災訓練の実施(西川地区防災訓練の開催(毎年))	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組			
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進			
	■ 河川における機能の確保			
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ確かな水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
■ 河川管理施設の整備等に関する事項	ダムの柔軟な運用への協力(天竜川水系(下流)洪水機能調節協議会への参画・事前放流実施要領に基づくダム運用)	ダムの柔軟な運用への協力(天竜川水系(下流)洪水機能調節協議会への参画・事前放流実施要領に基づくダム運用)		
■ 被害対象を減少させる対策				

●令和5年度の取組予定

■ダムの機能や効果、操作に関する情報周知

- 天竜川水系ダム放流説明会を開催し、ダム設備概要、ダム放流の概要を説明し、ダム放流時の連絡先等を関係機関に周知する
(新型コロナウイルス感染拡大防止のためR5に延期)



天竜川水系ダム放流説明会

■関係機関が連携した実働水防訓練の実施

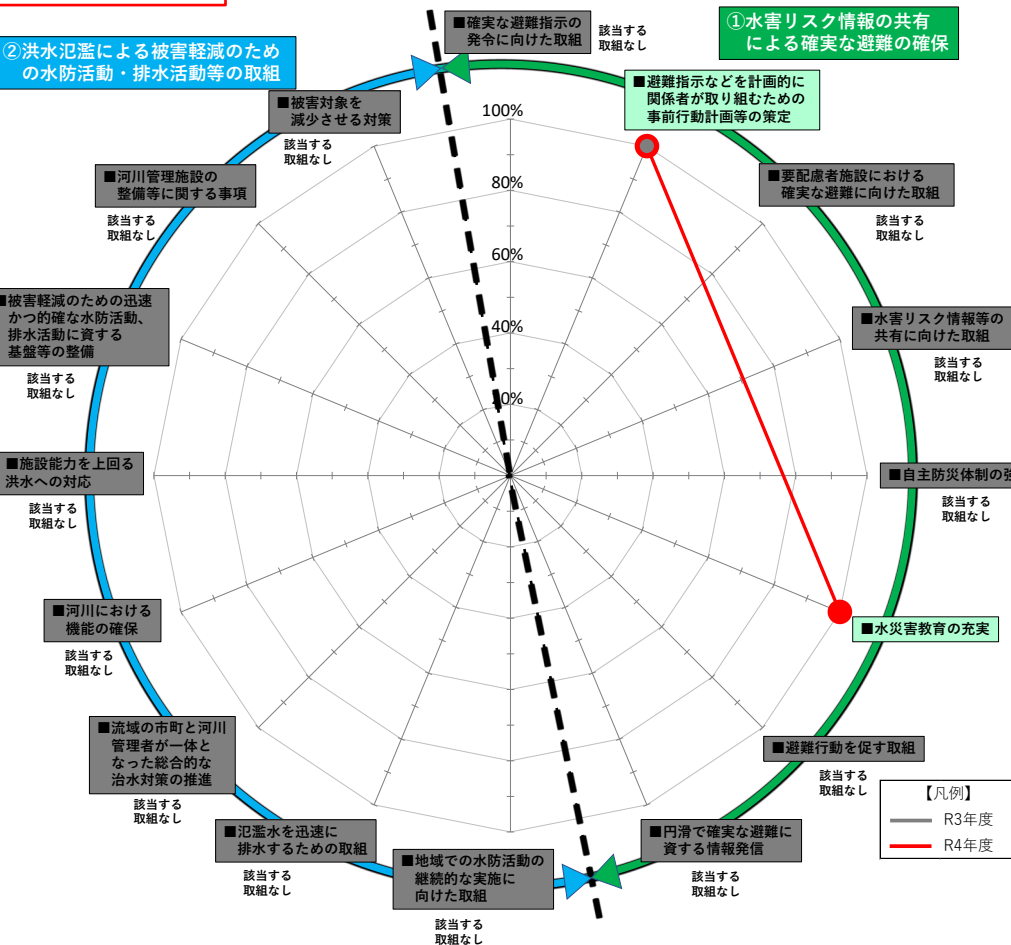
- 関係機関と連携し、大規模出水を想定した西川地区の増水対策として防水門扉および排水設備の訓練を実施する



西川地区防災訓練

- 取組の進捗率は令和3年度時点で100%を達成し、令和4年度時点で体制を維持し取組実施している。
- 重要施設の浸水対策の検討
- 地震防災避難指定場所の掲示を更新
- 各駅に配布用の減災協議会パンフレットを設置

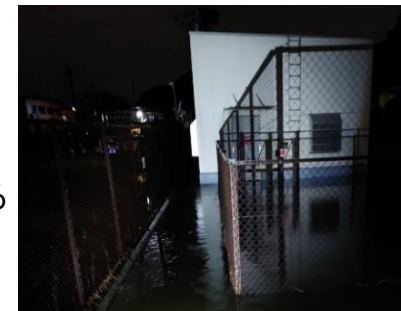
取組の進捗率



● 主な取組内容 (R4年度)

○ 重要施設の浸水対策の検討

2022年9月23日に発生した台風15号による大雨により、自動車学校前変電所内に雨水が浸入した。従前から対策は検討していたが、今回の事象を受けて来年度対策を実施することを検討開始した。



○ 地震防災避難指定場所の掲示を更新

各駅に掲示している避難場所の掲示を、大雨・台風等に対応するよう見直しをした。



西ヶ崎駅における緊急避難場所掲示の様子

○ 各駅に配布用の減災協議会パンフレットを設置

2022年3月に作成された減災協議会の「水防災意識社会再構築ビジョン」のパンフレットを各駅に配置し、利用者に配布することとした。

●取組5カ年のロードマップ

項目		取組実績		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組			
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	各駅周辺の避難場所(自治体設定)の把握	HPIに自治体避難情報のURL掲載を検討	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組			
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組			
	■ 自主防災体制の強化			
	■ 水災害教育の充実	西部中東遠地域減災協議会パンフレット等配布の実施	西部中東遠地域減災協議会パンフレット等を活用し、駅構内スペース等での掲示・配布を予定	
	■ 避難行動を促す取組			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信			
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組			
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組			
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進			
	■ 河川における機能の確保			
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	重要施設の浸水対策の実施	河川の氾濫が発生した場合にも浸水に耐えられるよう施設の整備の実施	
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
■ 河川管理施設の整備等に関する事項				
■ 被害対象を減少させる対策				

●令和5年度の取組予定

■重要施設の浸水対策の実施

2022年9月23日に発生した台風15号による大雨により、自動車学校前変電所内に雨水が浸入した。
従前から対策は検討していたが、今回の事象を受けて2023年度に対策を実施する。

その他の施設についても継続的に対策を実施していく。

■各駅周辺の避難場所(自治体設定)の把握

HPIに自治体避難情報のURL掲載を検討する。

■減災協議会パンフレット等配布の実施

駅構内スペースでの配布を予定。

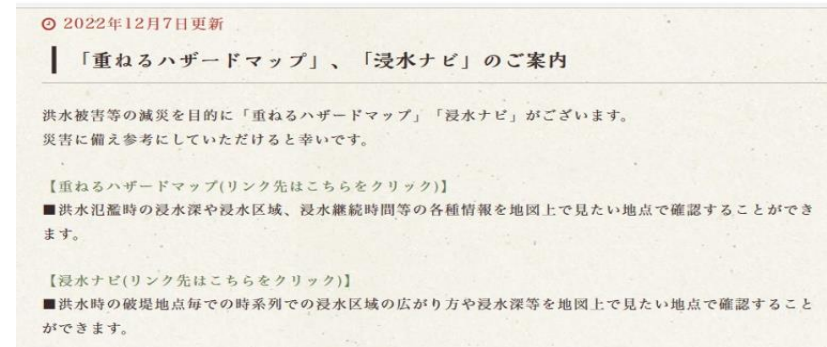
- 取組の進捗率は令和3年度時点で100%を達成し、令和4年度時点で体制を維持し取組実施している。
- 鉄道をご利用頂ける方々に、防災情報や減災意識の向上に繋がる情報を早く伝えるにはどのような方法があるのか検討をしている。

● 主な取組内容(R4年度)

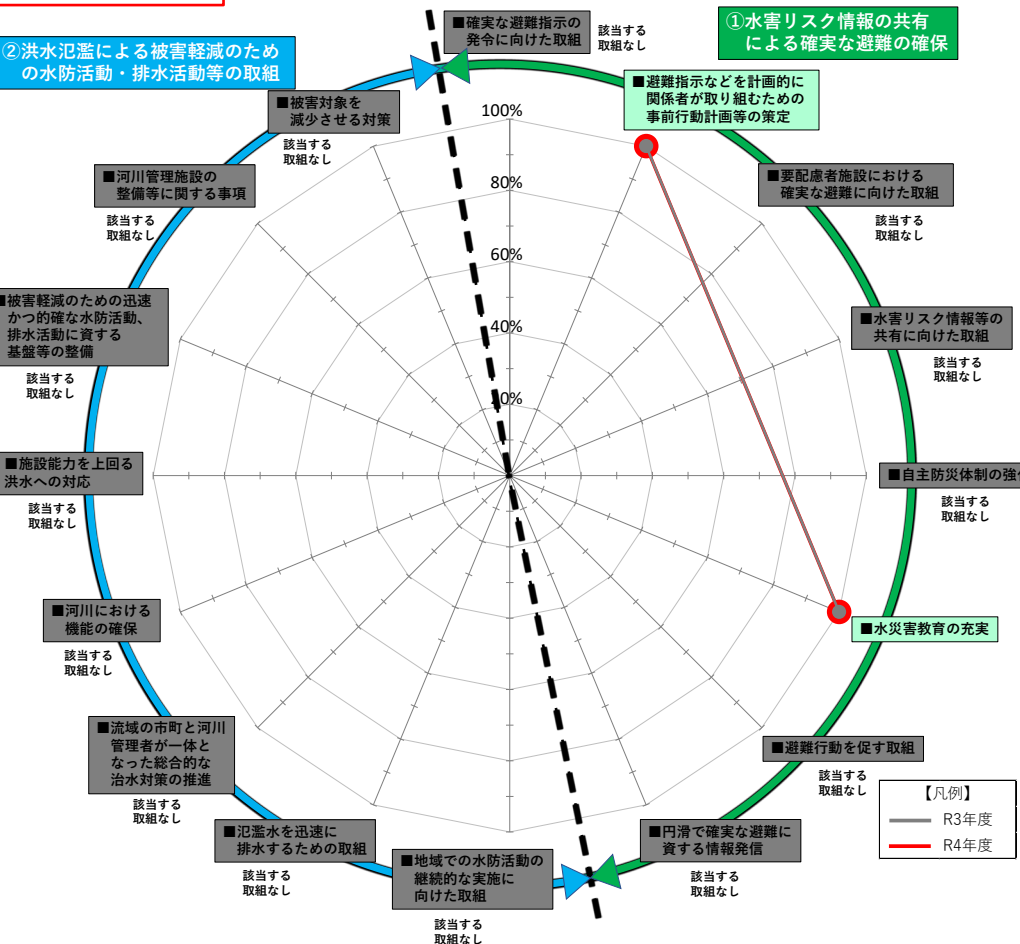
【自社ホームページでの水害リスク情報の掲載方の検討】



・「重ねるハザードマップ」「浸水ナビ」へのリンクと減災協議会のパンフレットを掲載した。



取組の進捗率



※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●取組5カ年のロードマップ

項目		取組実績		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組			
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	防災情報のHP掲載方法の検討	弊社HPにハザードマップ等の防災情報掲載サイトへのリンクを設定する。	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組			
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	駅舎掲示スペースへの災害情報掲示の検討。	駅の掲示スペース等を活用し、減災協議会パンフレット等の活用を検討	
	■ 自主防災体制の強化			
	■ 水災害教育の充実			
	■ 避難行動を促す取組			
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組			
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組			
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進			
	■ 河川における機能の確保			
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策				

●令和5年度取組予定

■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組

- ・ 駅待合室等の掲示板に減災に関する情報を掲載方の検討。
- ・ 避難情報等を当社が正確・迅速に把握する方法、また、それを旅客にどのように伝えるか検討する。
- ・ 列車の運行休止の場合等に長時間にわたる乗客の駅や列車内への取り残しが発生しないような取組。

■ 氾濫等発生時の鉄道の被害軽減に向けた取組

- ・ 旅客、乗客の被害軽減のための検討。
- ・ 鉄道係員の被害軽減のための検討。
- ・ 鉄道車両、社用車の被害軽減のための検討。

- 取組の進捗率は令和3年度時点で100%を達成し、令和4年度時点で体制を維持し取組実施している。
- 令和4年度は、「流域治水として貯留機能(校庭貯留)の確保」などに取り組んでいる。
- 今後も関係機関と連携を図り、取り組みを継続していく。

● 主な取組内容(R4年度)

○ 流域治水として貯留機能(校庭貯留)の確保

浜松市内の学校24校について校庭貯留の整備を進めており、4年度では整備工事を実施し、4校の校庭貯留施設を整備。



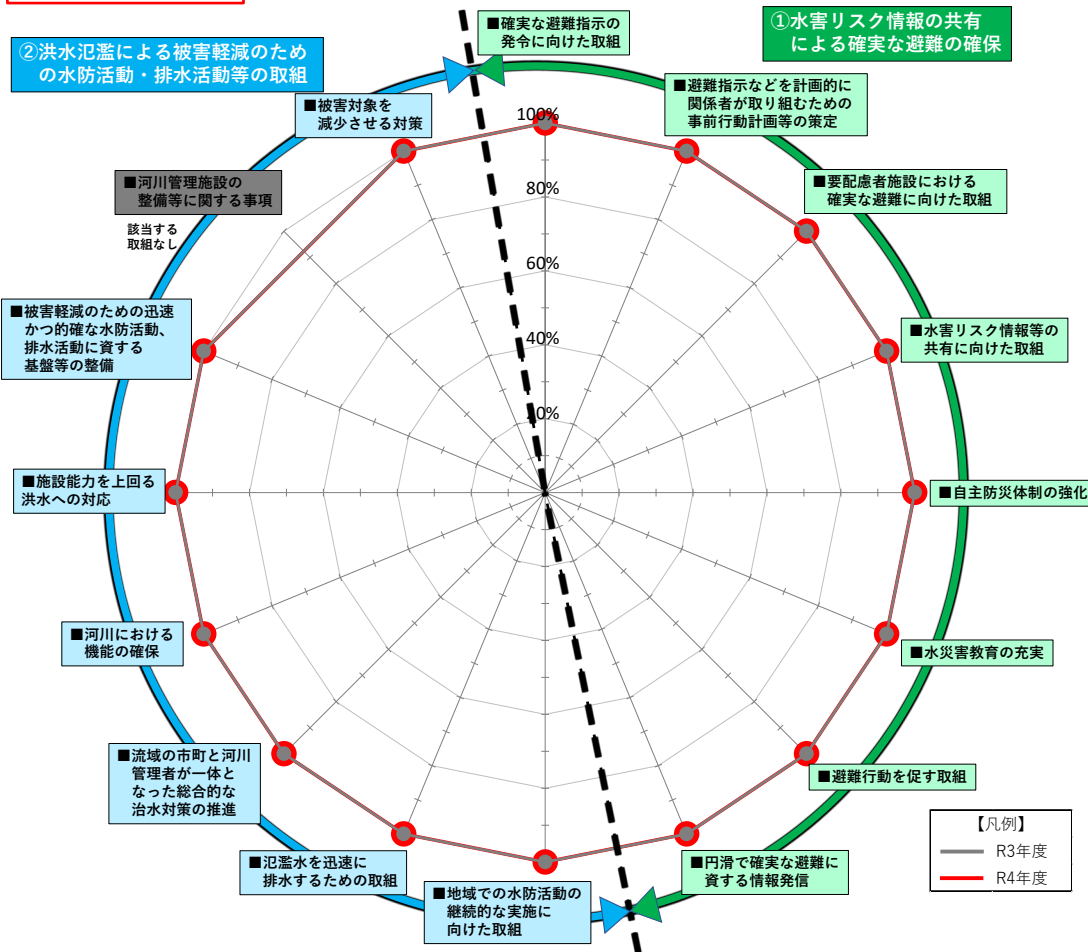
○ 水災害リスク情報空白域の解消

浜松市管理の2級河川(5河川)について浸水想定図を作成し、**市防災マップ**上で一般公開(R4年度)することで水災害リスク情報の空白域解消を図った。

○ 自主防災隊連合会定期総会にて气象台講師によりキキクルの活用を紹介

自主防災隊の定期総会において、气象台講師によるキキクルの活用方法などについて、講演会を実施した。また、防災委員の研修会においても、周辺地域のハザードや災害時の初動に繋がる情報入手の方法等についての講演会を実施した。

取組の進捗率



取組実績

取組予定

対象外

●取組5カ年のロードマップ

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	災害対応に伴い避難判断マニュアルの検証実施	○ 避難判断マニュアルの検証を行い必要に応じ見直しを行う。
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	災害対応に伴いタイムライン等の検証実施	○ 関係課等と連携して必要に応じタイムラインの見直しを行う。
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画作成、訓練実施の呼び掛け実施	○ 避難確保計画の作成と避難に係る訓練の実施を呼び掛ける。
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	出前講座の実施	○ 「浜松市防災マップ」を活用した出前講座を開催し水害リスク情報の共有を図る。
	■ 自主防災体制の強化	出前講座や研修会等の実施	○ 防災委員研修会、出前講座を通じ水害リスクの周知と防災知識の普及を図る。
	■ 水災害教育の充実	防災ノートの配付、出前講座の実施	○ 小中学校における総合学習講座や浜松市防災学習センターで開催する講座などにおいて水災害教育に努める。
	■ 避難行動を促す取組	市ホームページ等による情報提供の実施	○ 市ホームページ等を活用し雨量や水位に係る情報や緊急避難場所の開設状況等を発信する。
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	防災ホットとメールやLINE等による避難情報の配信	○ 浜松市防災ホットとメールやLINE等を活用し避難に資する情報を発信する。
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防団水防演習、重要水防箇所合同巡視の実施	○ 水防演習等の実施による水防団との連携、水防活動に活用する資材の充実を検討する。
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	排水資器材の情報把握	○ 地域（消防や建設会社）が有するポンプ等の情報把握に努める。
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	九領川河川整備、校庭貯留施設の整備	○ 河川整備計画や浜松市総合雨水対策計画に基づく九領川等の改修を推進する。
	■ 河川における機能の確保	市管理河川の河床掘削の実施	○ 市管理河川について巡視、点検により状況を把握し、支障がある箇所については河床掘削等を実施する。
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	河川巡視・点検を実施	○ 河川改修等に合わせて堤防天端舗装を実施する。
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	水位計、量水計の設置検討、水防倉庫の修繕	○ 水位計や量水標の設置の検討や水防倉庫の整備などを検討する。
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項	流域治水協議会にて台風等の浸水被害の検証、対策検討	○ ダム管理者と流域治水協議会において協議・確認する。
■ 被害対象を減少させる対策	災害リスク評価分析の実施	○ 立地適正化計画において防災対策・安全確保策の記載を検討する。	

●令和5年度の取組予定

■ 流域治水の推進

貯留施設整備による流出抑制対策
・浸水リスクが高い重点エリアの小中学校24校を対象に進めてきた貯留施設整備を引き続き、関係機関と連携を図りながら着手する予定。

■ 河川機能の確保

・市が管理する河川について、堆積土砂や河道内樹木が流下能力の阻害となっている箇所について、堆積土砂の浚渫及び樹木伐採を行い河川機能の健全性を確保する。

■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

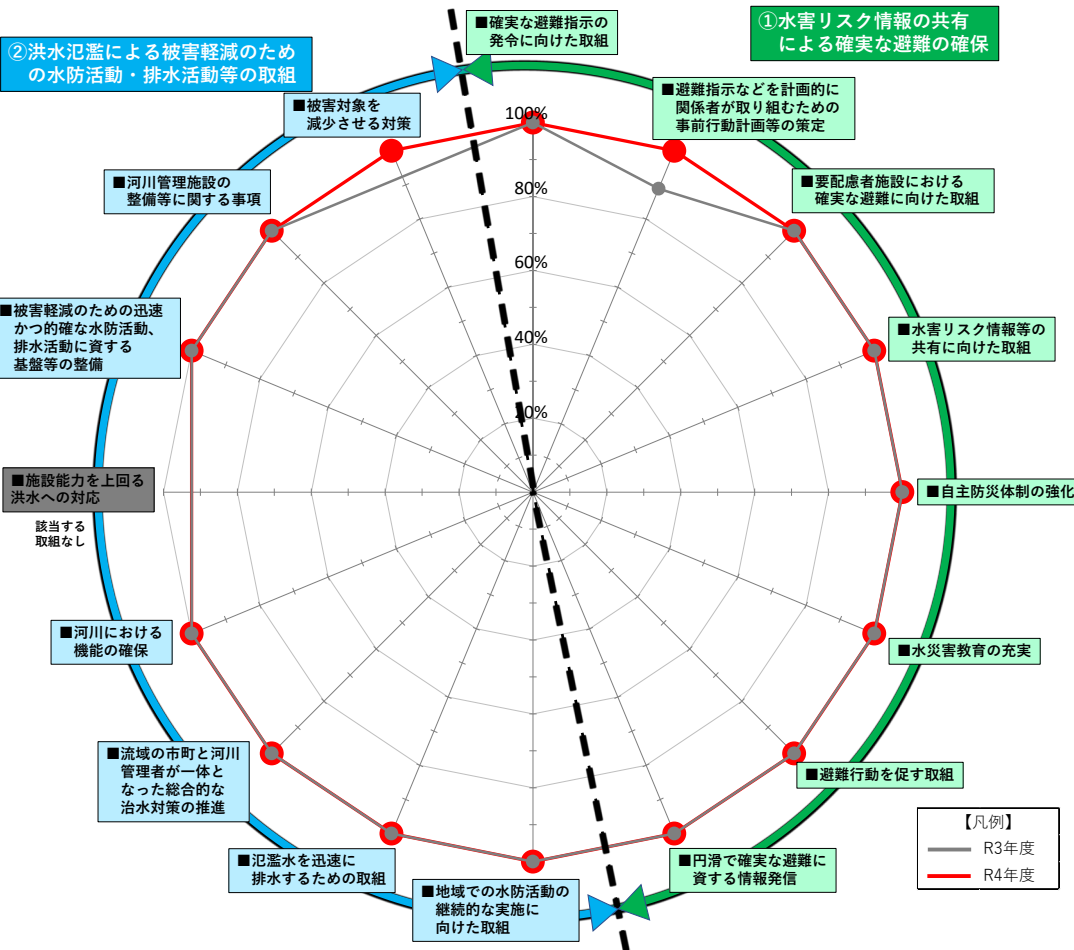
・洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成と避難に係る訓練の実施を推進し、避難確保計画及び訓練実施報告の提出を求める。

■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組

・「浜松市防災マップ」等を活用した出前講座を開催し、水害リスク情報の共有を図る。

- 取組の進捗率は、令和4年度時点で100%に達している。令和3年度より高い水準を保ち、継続し取組実施している。
- 昨年度に引き続き、「出前講座によるマイ・タイムラインの作成講座」、を実施、新たに「土砂災害版マイ・タイムライン作成講座」、「浸水深ポスターの作成」、「ハザードマップの更新・配布」等に取り組んできた。
- 今年度中の外国語版のハザードマップ作成を進めている。

取組の進捗率



● 主な取組内容(R4年度)

○マイ・タイムライン作成の講座の開催

家族構成や住いの場所に合わせ、自分自身がどのように避難するか、あらかじめ時系列で整理した避難行動計画(マイ・タイムライン)の作成講座を開催。また、土砂災害に関する避難行動計画(土砂災害版マイ・タイムライン)の作成講座も開催。



○浸水深ポスターの作成

地域にとって最も身近な公共施設である交流センターにおいて洪水が発生した場合の浸水深(浸水被害)を視覚で認識してもらうため、官民が協力してポスターとチラシを作成しました。交流センター又は公会堂に掲示、配布しています。



○洪水ハザードマップを全戸配布

洪水ハザードマップの更新に併せて全戸配布及びホームページを更新しました。また、市役所及び交流センターでも配布を行っています。また、外国語版のハザードマップの作成の準備を進めています。



※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●取組5カ年のロードマップ

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	避難判断マニュアルの確認	避難情報の判断・伝達マニュアルの随時見直し 等	
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	危機管理ヒアリングを実施行動計画の検証を実施	適宜タイムラインの更新、検証 等	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	新規事業者への説明を実施	避難確保計画に基づく避難訓練の実施の呼びかけ 等	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	内水浸水想定区域図作成検討	想定最大規模降雨の内水浸水想定区域図作成検討・準備 等	
	■ 自主防災体制の強化	令和4年4月見直し実施	適宜自主防災会長の手引きの見直しを行い情報提供を行う 等	
	■ 水災害教育の充実	出前講座の実施	小中学校及び市民向けの講座の開催	
	■ 避難行動を促す取組	風水害、土砂災害マイタイムライン作成講座の実施	風水害、土砂災害のマイタイムライン作成講座開催 等	
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	転入者への防災ファイルの配布を実施及び出前講座の実施	転入者への防災ファイルの配布及び出前講座等での周知啓発活動の実施 等	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	天竜川重要水防箇所合同巡視に参加	河川道路事務所、組合と合同で重要水防箇所の点検の実施 等	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	自主防災会可搬式ポンプ購入	消防本部、消防団、自主防災会の保有するポンプについて見直しを行う	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		天竜川下流域協議会等において、検討・協議・確認を行う	
	■ 河川における機能の確保	市管理河川の河道掘削を実施	河道内の砂堆積箇所や河道内樹木の状況を把握し関係機関と情報共有し、必要に応じて対応する	
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	冠水センサー設置の検討	必要に応じ量水標等の設置を検討する	
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項		天竜川下流域治水協議会で協議・確認する	
	■ 被害対象を減少させる対策	問合せに対して、電話や窓口対応により情報提供を実施	問合せに対して、電話や窓口対応により情報提供を継続する	

●令和5年度の取組予定

■風水害啓発チラシの作成、避難行動の手引きの配布

近年、激甚化する風水害から市民が自ら身を守る避難行動等の啓発を目的とした「風水害啓発チラシ」の作成及び自治会長等に防災意識を高めるため「避難行動の手引き」を配布する。

■外国人向けマイ・タイムライン作成講座の開催

国際交流協会と連携し、外国人向けにやさしい日本語を用いて、避難行動計画(マイ・タイムライン)の作成講座を開催する予定。「台風」や「避難」などの用語をわかりやすく説明しながら避難行動等の理解を深めていく。



- 取組の進捗率は令和3年度時点で100%を達成、令和4年度は体制を維持し実施している。
- 出前講座、防災リーダー養成講座等を継続的に実施し、地域防災力の向上を図る水災害教育に取り組んでいる。
- 防災メール・防災ラジオ等を活用した災害情報の取得を市民に周知し、円滑で確実な避難に資する情報発信に取り組んでいる。

● 主な取組内容(R4年度)

○ 防災リーダー養成講座(初級編、上級編)を実施

令和4年6月、9月、10月、11月に地域防災力の向上を目的として、水害の発生原因や情報の収集、避難のタイミング等の講座を実施。



○ 水防訓練を実施

令和4年6月に自主防災会、建設業組合、水防団、消防本部が協働し、出水時の防災体制の確認と水防工法技術の習得を実施。

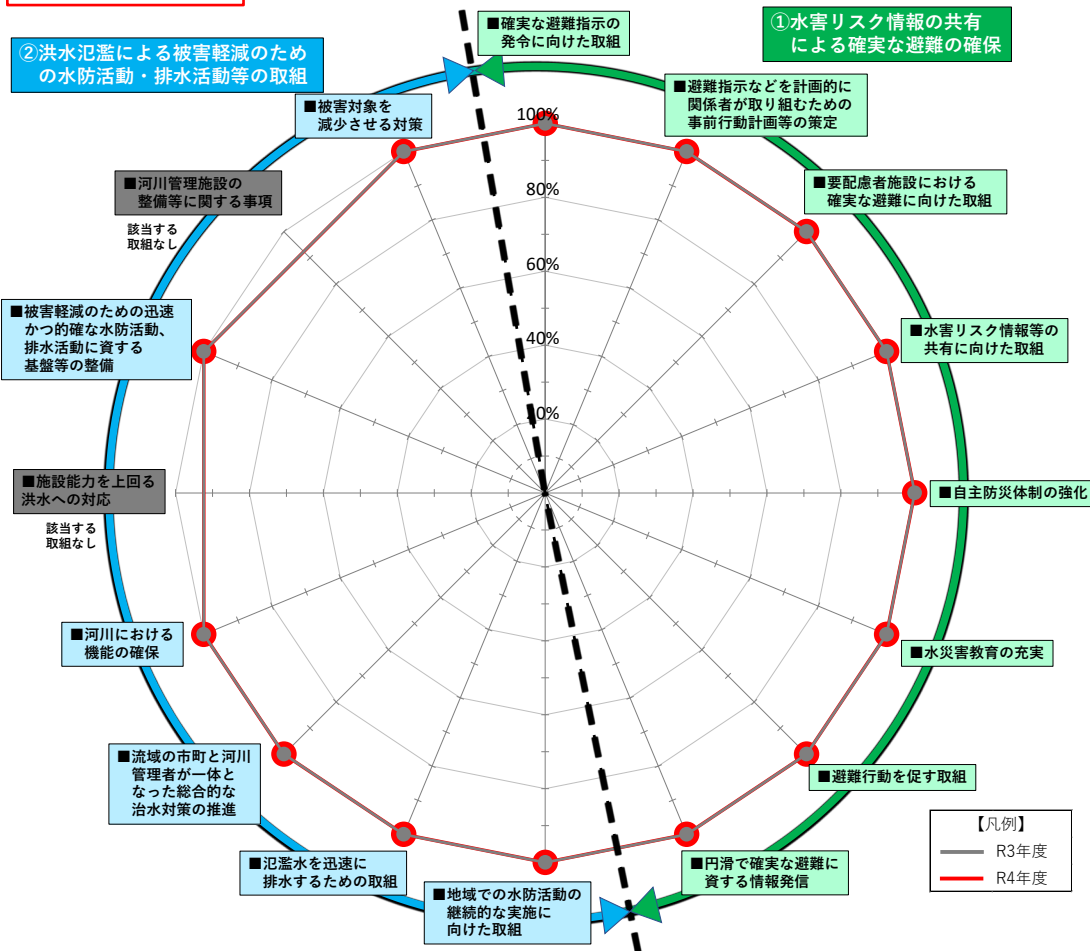


○ 流域一体型タイムライン策定に向けた読み合わせ訓練を実施

国・県・掛川市の参加による読み合わせ訓練を令和4年11月に実施。フェーズごとに防災行動及び関係機関間の連携行動、役割分担等を確認。



取組の進捗率



※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●取組5カ年のロードマップ

項目	令和4年度	取組実績	取組予定	対象外
		令和5年度	令和6年度～令和8年度	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習訓練の実施	ホットライン・洪水対応演習等情報伝達訓練の実施、発令基準を適宜見直し等	
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	対応行動整理表に関する勉強会実施	対応行動整理表の更新、洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討等	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	「高齢者等避難」以上の発令で「施設状況報告」の提出をマニュアル化 高齢者福祉施設の避難確保計画作成100%	施設管理者への防災情報等の提供、研修会を適宜実施等	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	洪水浸水想定区域図(掛川市防災ガイドブック)の更新・配布	洪水浸水想定区域図(掛川市防災ガイドブック)の更新・配布、広域避難体制の検討等	
	■ 自主防災体制の強化	出前講座の開催	防災情報の提供、活動の支援、出前講座の開催等	
	■ 水災害教育の充実	出前講座・防災リーダー養成講座の開催	出前講座・防災リーダー養成講座の開催等	
	■ 避難行動を促す取組	掛川市防災ガイドブックを更新・配布し、マイ・タイムライン(家庭の避難計画・デジタル版)の推進	掛川市防災ガイドブックを更新・配布し、マイ・タイムライン(家庭の避難計画・デジタル版)の推進、出前講座の開催等	
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	同報無線(防災ラジオ)・災害メール等の活用	同報無線(防災ラジオ)・災害メール等の活用等	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	重要水防箇所合同巡視に参加 水防訓練の実施	国主催の重要水防箇所合同巡視に参加、水防訓練の実施等	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	ポンプ数の情報を把握・整備等		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	総合治水計画の策定	ため池や水田など流域の貯水機能の保全、確保などの流出抑制対策の推進、田んぼダム拡大に向けた検討等	
	■ 河川における機能の確保	河川改良	地元要望などにより把握した河道内土砂堆積箇所、樹木の状況を随時報告、樋門・樋管等、市管理施設の情報共有等	
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	土のうステーション設置の補助	小河川の水位センサーによる水位情報提供、各地区に土のうステーション設置の促進・補助等	
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策	水田貯留について検証・拡大等			

●令和5年度の取組予定

■水災害教育の充実

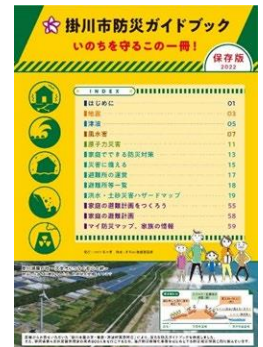
地域の自主防災組織を対象に、防災知識と救助技術等を身につけた防災リーダーを養成し、「地域で守る」共助(近助)の力、地域防災力の向上を目的として防災リーダー養成講座を開催。水害の発生原因や、情報の収集、避難のタイミング等を学習。



防災リーダー養成講座

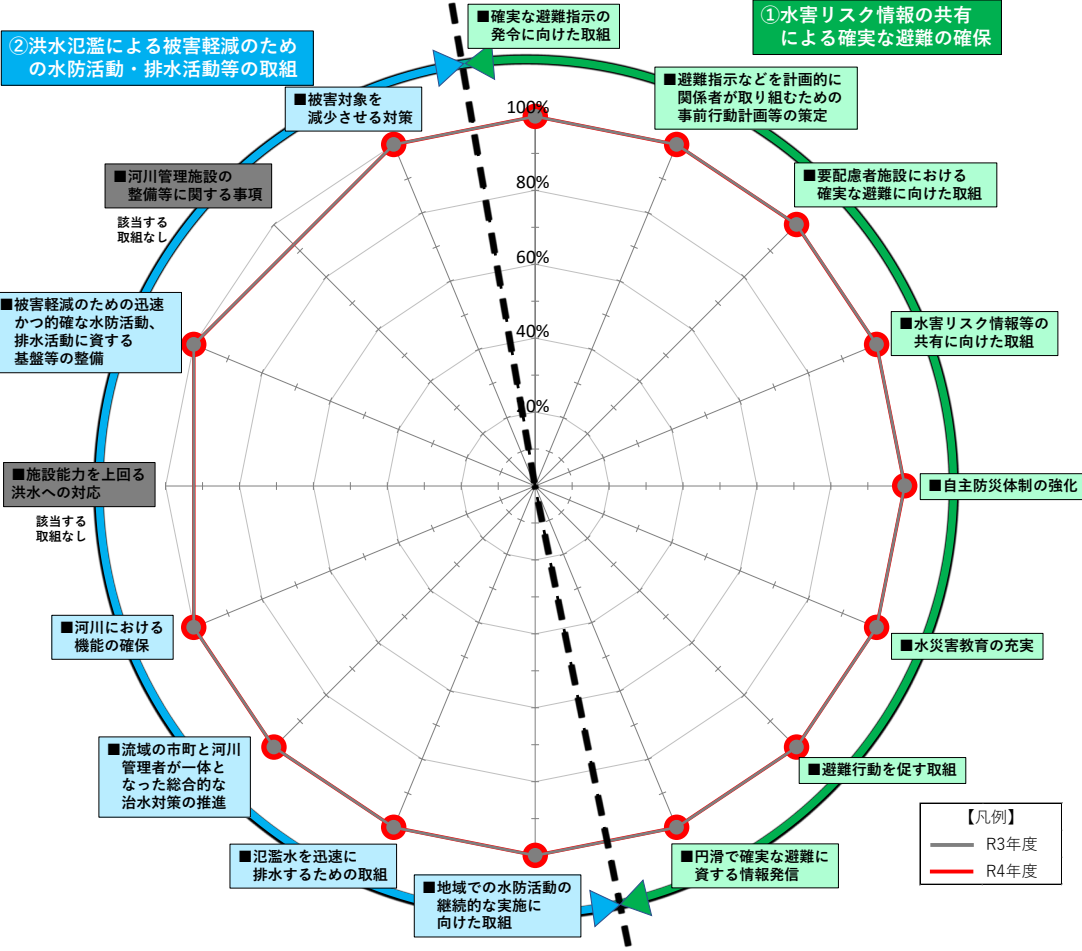
■避難行動を促す取組

掛川市防災ガイドブックを使用し浸水実績等の周知、マイ・タイムライン(家庭の避難計画)およびデジタル版家庭の避難計画)を推進し水害リスクに対する理解促進に取り組む。



- 取組の進捗率は令和3年度時点で100%を達成、令和4年度時点で体制を維持し取組実施している。
- 令和4年度は「消防団(水防団)員への水防工法研修会の実施」「消防団(水防団)員確保に向けたPR活動の実施」「重要水防箇所及び水防倉庫の巡視」等に取り組んでいる。
- 引き続き、現在の取組を推進していくとともに、過去に実施した取組についても、他の構成機関を参考に適宜見直しを行い、内容をより充実させていく。

取組の進捗率



● 主な取組内容(R4年度)

○消防団(水防団)員への水防工法研修会の実施

出水時期を迎えるにあたり、消防団(水防団)員に対し、水防広報の講習会を行い、有事の際に現地ですぐに活動できるよう土嚢の作成方法や土嚢積工などを学んだ。



○消防団(水防団)員確保に向けた等のPR活動の実施

団員確保が難しくなっている消防団(水防団)員の入団希望者の確保を目的に地元メディア(FMラジオ)に出演し、団の活動内容などをラジオDJと対話することでPR活動を行った。



○重要水防箇所及び水防倉庫の巡視

洪水発生時の迅速かつ的確な水防活動に備え、袋井土木事務所、太田川流域市町と合同で重要水防箇所と水防倉庫を巡視し、現況確認と資機材の数量等の点検を実施した。



※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●取組5カ年のロードマップ

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	避難判断マニュアルの確認	避難判断マニュアルの更新 ホットライン体制の維持 等	
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	避難に関する意見交換会の実施 等		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画作成の推進	要配慮者支援施設の管理者を対象とした防災情報等の提供及び理解促進 等	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	想定最大規模降雨に対応した洪水ハザードマップの周知 中小河川に対応した洪水ハザードマップの作成 等		
	■ 自主防災体制の強化	3回(R4.4、R4.7、R4.10)の防災隊長会議における講和	自主(連合)防災隊長会議等における研修会の実施	
	■ 水災害教育の充実	水害対策チラシ作成及び配布等(約33,000部)	出前講座・ワークショップの実施 防災ガイドブックの周知・更新等	
	■ 避難行動を促す取組	登録制メール配信サービス登録者向上の取組み	雨量や水位に係るリアルタイム情報の提供 マイ・タイムラインの研修会の実施	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	登録制メール配信サービス登録者向上の取組み	登録制メール配信サービスの周知・啓発	
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	消防(水防)団員確保の取組み	消防(水防)団員の確保に向けた広報活動・PRの実施・処遇改善の取り組み等	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	地域が有するポンプの性能検査の継続実施		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	校庭貯留施設整備、準用河川改修(松橋川・油山川)	河川整備計画等に基づく着実な治水対策の推進	
	■ 河川における機能の確保	浚渫工事の実施(7河川)	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全、河川管理の高度化の検討	
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	土のうステーションの運営・整備		
■ 河川管理施設の整備等に関する事項				
■ 被害対象を減少させる対策	立地適正化計画の見直しのための基礎調査実施	立地適正化計画における防災指針の記載(都市計画区域内)、宅地建物取引業団体への水害リスク情報等の説明		

●令和5年度の取組予定

■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

自らの地域は自らの手で守る気持ちで活動している消防団員の団員確保を行い、継続的な水防活動体制の持続を図るため、消防団員数増加の取組を実施してまいります。

- ・地元メディア等への出演によるPR活動
- ・ポスター等作成によるPR活動 など

■ 避難行動を促す取組(浸水実績等の周知)

住民自身の避難行動を促す取組として、過去の浸水実績図を整備し、住民や転入者が水害リスク情報を容易に取得できるよう、市ホームページへの掲載方法の改善や、アクセス性の向上に取り組んでまいります。

- 取組の進捗率は令和3年度時点で100%を達成し、令和4年度時点で体制を維持し取組実施している。
- 令和4年度は、出水期前に水防体制の強化を図る目的で実施している「水防訓練」、地域住民の防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図る目的で実施している「防災出前講座」、市民の避難行動や、災害に対する意識を高めるため「津波・土砂災害に係るハザードマップの更新・配布」等に取り組んでいる。

● 主な取組内容(R4年度)

○ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

令和4年5月に、水防体制の強化並びに水防工法の技術向上を図るため、市の水防班と地域の消防団との共同で水防訓練を実施。



土のう作成訓練



チェーンソー訓練

○ 避難行動を促す取組

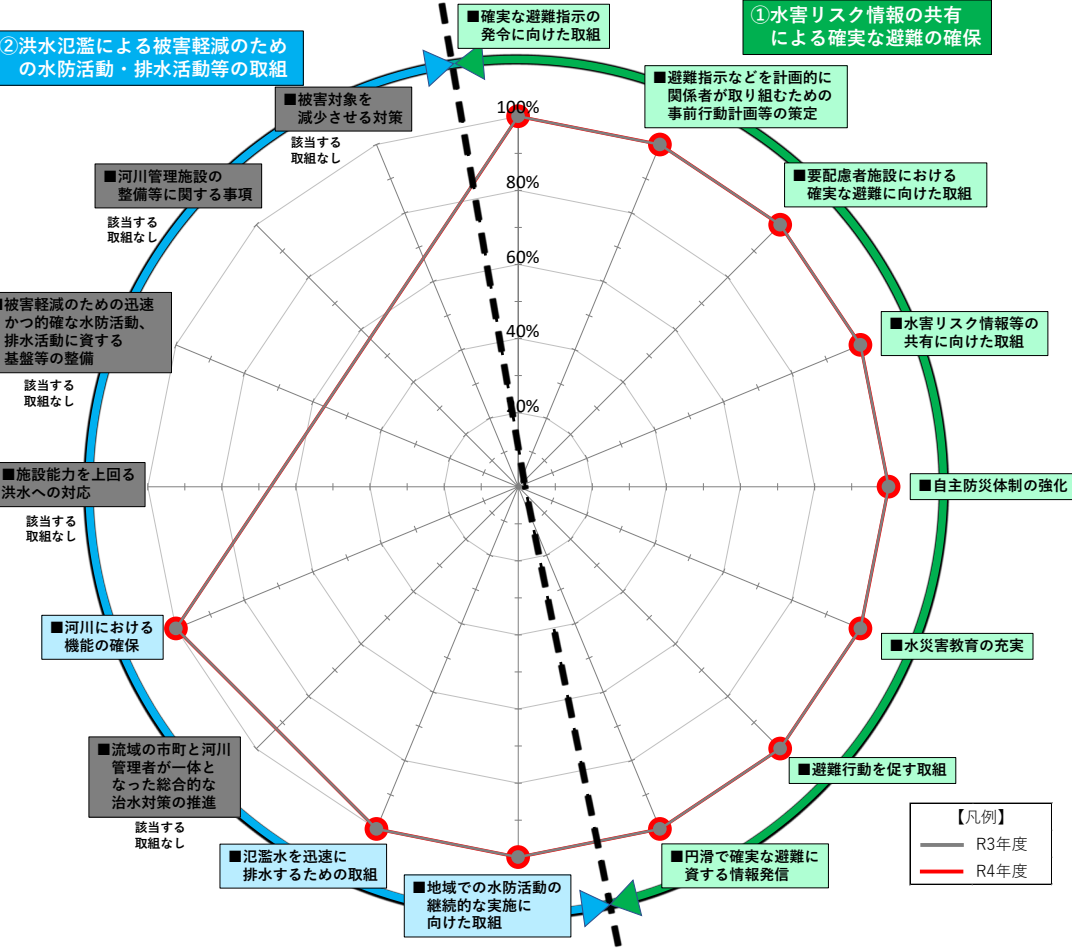
防災出前講座を活用した防災・減災対策の理解促進により、更なる防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図った。



○ 円滑で確実な避難に資する情報発信

平成26年3月に作成したハザードマップについて、新たに整備した津波避難施設に加え、追加指定された土砂災害警戒区域等の情報を追加・更新し、令和5年3月に全戸配布する。

取組の進捗率



※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

取組実績

取組予定

対象外

●取組5カ年のロードマップ

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	気象台と静岡県との連絡体制の確認を行った	ホットライン体制の構築及び検証、避難勧告等発令の判断・伝達マニュアルの検証等
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	4月に自主防災会に対し説明会を実施し情報提供を行った	情報伝達手段の多元化・通信機器の更新、地域住民に確実かつ迅速な情報の提供等
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	防災研修会等への出席を働きかけた	確実な避難体制の確保のための避難確保計画に基づく避難訓練の実施等
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	自主防災会等に対し、情報提供をした	防災出前講座を活用した水害危険性の周知促進
	■ 自主防災体制の強化	防災意識の高揚、地域防災力の向上を図るため出前講座の実施	自主防災会が継続的かつ適切に運営されるための情報提供や体制・活動の支援
	■ 水災害教育の充実	防災意識の高揚、地域防災力の向上を図るため出前講座の実施	防災出前講座を活用した水害(防災)教育の拡充・支援体制の構築
	■ 避難行動を促す取組	防災意識の高揚、地域防災力の向上を図るため出前講座の実施	防災出前講座等を活用した住民向け防災情報の説明会・訓練の充実
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	津波・土砂災害に係るハザードマップの更新・配布	避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供等
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	R4.5月に地域の消防団との共同で水防訓練を実施	水防団員に対する教育・訓練(水防工法の伝承、安全教育など)の実施等
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	9月1日防災訓練で建設会社の保有するポンプの状況を確認	地域が有するポンプ等(消防や建設会社)の活用に向けた情報の整理と共有
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		
	■ 河川における機能の確保	地元要望等により堆積土砂を確認した箇所を管理者へ報告	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策			

●令和5年度の取組予定

■水防体制の強化を図る水害リスクの高まる出水期前に水防訓練の実施

出水期前に、水防体制の強化並びに水防工法の技術向上を図るため、市の水防班と地域の消防団が共同で水防訓練を継続して実施。



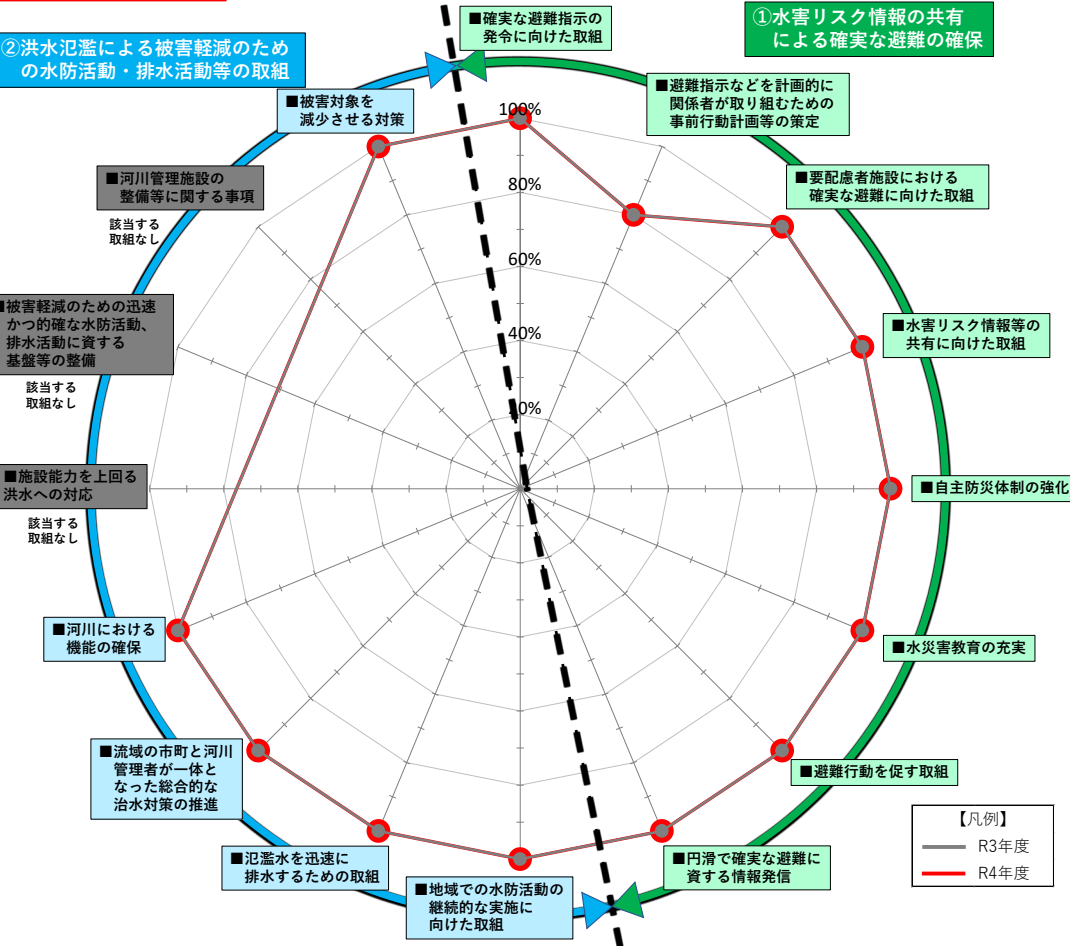
■地域の防災意識の向上を図る防災出前講座の更なる促進により、災害への備えを強化する

更なる防災意識の向上及び地域防災力の強化を図るため、防災出前講座を継続して実施。



- 取組の進捗率は、令和4年度時点で98%に達している。令和3年度より高い水準を保ち、継続し取組実施している。
- 令和4年度は地元自治会及び水防団との連絡調整を主に行い、来年度以降の水防体制の強化について協議を進めた。
- 今後、自治会と協力して検討を進め、日ごろからの水防対策や水防訓練に関して啓発を行っていく。

取組の進捗率



● 主な取組内容 (R4年度)

○ 地元水防団による掛川市の水防訓練の視察

今後の水防団活動の活性化及び水防活動に関する知識の習得のために、水防活動が必要となる水防団の幹部団員を対象にして、掛川市の水防訓練の視察を実施。

来年度以降実施予定の水防訓練や日ごろの団活動内での水防訓練についての知識の取得を図った。



○ 洪水ハザードマップの説明及び水防活動に関する講習会の実施

地元の住民の水防意識の啓発と新規作成した、洪水ハザードマップの普及のために、洪水の浸水区域内の地域の住民を対象として、新野川のハザードマップの説明と水防に関する講習会を実施。次年度以降の水防活動の足掛かりと一般住民の意識啓発を図った。



○ 防災用品に対する補助金の交付

例年と同じく、地震や津波等の総合的な災害に対応するため、防災用品の購入費等に対して補助を行い、防災意識及び自助の意識の高揚を図った。

補助金制度を延長しました！

継続して、防災対策をサポートします！！

研修プレーカー設置費補助金
 補助額 最大30,000円
 対象 研修プレーカーの設置費
 申請期間 令和4年度10月1日～令和5年度3月31日
 申請書提出 令和5年3月31日

役員転勤防止器具等購入費補助金
 補助額 最大5,000円
 対象 役員転勤防止器具等の購入費
 申請期間 令和4年度10月1日～令和5年度3月31日
 申請書提出 令和5年3月31日

防災用品購入費補助金
 補助額 最大7,000円
 対象 防災用品の購入費
 申請期間 令和4年度10月1日～令和5年度3月31日
 申請書提出 令和5年3月31日

取組実績

取組予定

対象外

●取組5カ年のロードマップ

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	連絡体制と発令基準の見直し	非常時の連絡体制や避難指示の発令基準についての見直し 等
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	マニュアルの修正	対応行動整理表やマニュアル等の見直し 等
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	訓練実施等に関する依頼	要配慮者施設で作成している避難計画の見直しや訓練の実施の推進 等
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	情報連絡体制の見直し	情報連絡体制の見直しや新たな連絡体制の構築について検討 等
	■ 自主防災体制の強化	関係自主防災会の水防体制の見直し	自主防災会との協議による、連携強化のため今後の水防体制の見直し 等
	■ 水災害教育の充実	防災学習での講義の実施	防災学習や防災に関する講演会などの開催を通して、水災害についての啓発 等
	■ 避難行動を促す取組	避難行動マニュアルの作成の推進	防災についての知識の取得の促進や避難行動についてのマニュアルなどの作成 等
■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	情報発信方法の検討及び見直し	情報発信方法の見直しや御前崎市のSNSなどを活用した新規の情報発信方法について検討 等	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防団向けの他市の水防訓練の見学会の実施	定期的な水防に関する勉強会や水防訓練の開催 等
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	排水に関する設備の検討や関係機関との排水計画に関する協議 等	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	河川計画に基づく治水対策の継続実施 等	
	■ 河川における機能の確保	協力体制の見直し	河川管理者との協力体制の見直しや市としての対応の検討 等
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項		
■ 被害対象を減少させる対策	ソフト面の対策の充実	水防に関するソフト面・ハード面両方の対策の検討 等	

●令和5年度の取組予定

■ 地元との協働による水防に関する啓発活動の実施

地元住民の水防意識の啓発と今後の防災対応の検討のため、自治会の協力のもと、新たな体制づくりについての検討や水害避難についての知識の習得のための講習会や説明会を実施する。

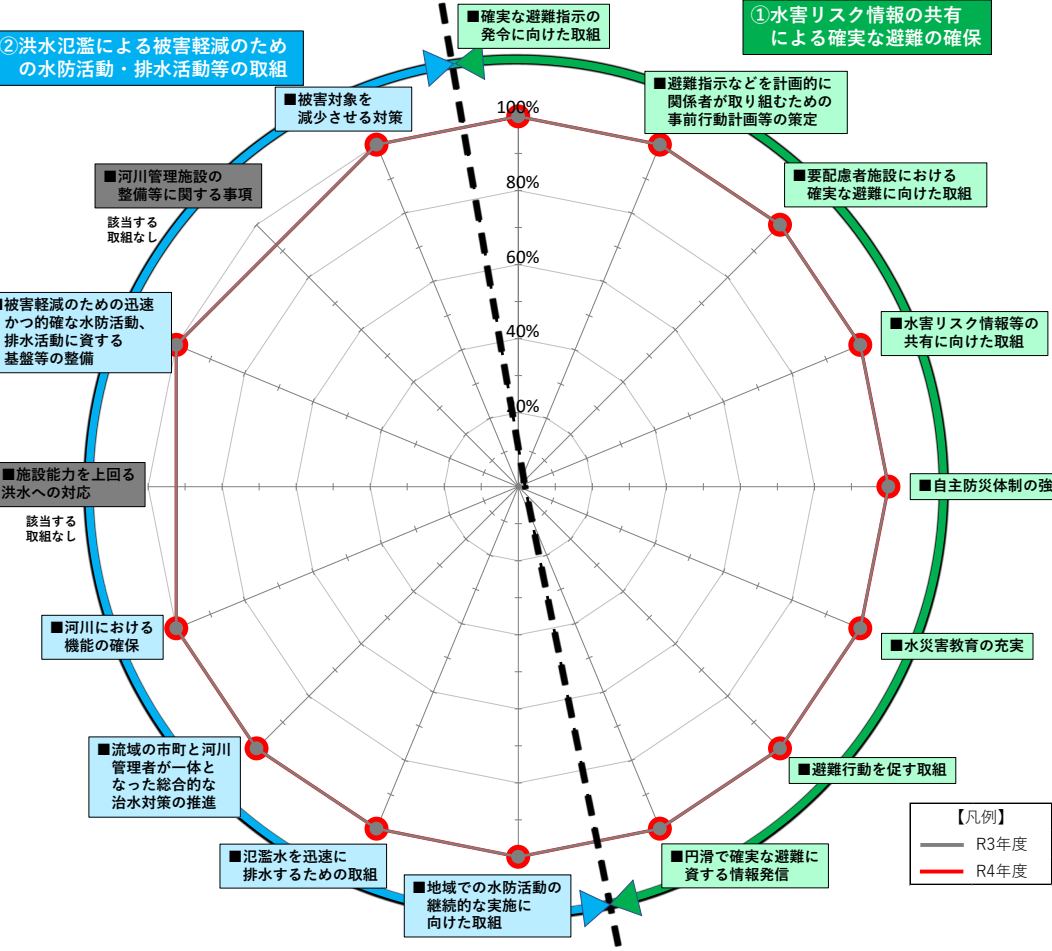
■ 水防団による実働的な水防訓練の検討と知識の習得

実働を行う水防団との協議を進め、今後につながる実働的な水防訓練の協議を行うとともに、水防団として必要な知識の習得を目指して、本年度同様に視察や講習会の実施について検討を行う。

【菊川市】 取組報告 (R4の取組内容)

- 取組の進捗率は令和3年度時点で100%を達成、令和4年度時点で体制を維持し取組実施している。
- 令和4年度は、「ハザードマップの周知」「出前講座等によるマイ・タイムラインの普及啓発・作成支援」「要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・更新支援」等に取り組んでいる。
- 今後は、関係機関との連携及び流域治水プロジェクトと連携した取組を継続実施していく。

取組の進捗率



● 主な取組内容 (R4年度)

○ 令和4年6月 水防団との水防訓練を実施



○ 出前講座等によるマイ・タイムラインの普及啓発、作成支援

ハザードマップの周知による、自宅等の水害リスクを認識すると同時に、マイ・タイムラインの普及啓発・作成支援をし、住民の水害への防災意識の向上を図った。また、専門的な知識を持つ「防災士」と連携した普及啓発を実施。



ハザードマップ



マイ・タイムライン



住民への出前講座

○ 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・更新支援

対象施設の避難確保計画作成率は100%であるため、計画に基づく訓練実施の周知。対象施設からの避難確保計画見直し等の支援の実施。

※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

取組実績

取組予定

対象外

●取組5カ年のロードマップ

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	避難情報の判断・伝達マニュアルの見直しの実施	洪水対応演習への参加、「避難情報の判断・伝達マニュアル」の見直し等
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	タイムライン及び対応行動整理用表活用の実施	対応行動整理表の更新、洪水時の情報伝達体制・多言語化・方法について検討
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	施設管理者への啓発及び支援の実施	施設管理者への啓発・支援を実施
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	ハザードマップの周知の実施	ハザードマップの周知・県管理河川の浸水想定図作成に伴う見直し、周知方法の検討
	■ 自主防災体制の強化	自主防災組織への出前講座の実施	出前講座等による周知啓発
	■ 水災害教育の充実	出前講座の実施及びハザードマップの配布	学校における防災教育、出前講座等を実施
	■ 避難行動を促す取組	マイ・タイムライン及び防災メールの普及啓発の実施	出前講座等によるマイ・タイムラインの推進、防災メール「茶こちゃんメール」の普及啓発
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	同報無線・防災メール・SNS等を活用した情報発信の実施	同報無線や防災メール「茶こちゃんメール」、SNSを活用した円滑な情報発信の実施
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	河川合同巡視への参加及び水防訓練の実施	重要水防箇所の合同巡視への参加、水防訓練の実施
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	消防で所持するポンプ車等の状況把握の実施	地域が有するポンプ等の活用に向けた状況把握を実施
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	貯留施設等の検討の実施	河川整備計画に基づいた治水対策及び要望活動を継続実施
	■ 河川における機能の確保	河川管理者との連携の実施	河川の状況把握及び河川管理者との適切な情報共有を実施
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	河川防災ステーションを水防活動拠点の活用の実施	水防活動拠点としての河川防災ステーションの活用
■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策	各種対策の検討及び水害リスクの情報発信の実施	有効な対策について検討及び計画の作成	

●令和5年度の取組予定

■避難行動を促す取組

マイ・タイムラインの推進のため、防災士と連携した出前講座等の実施

水害リスクの再認識と、早期の避難行動を図るための取組として、マイ・タイムラインの作成支援等の普及啓発を専門的な知識を持つ防災士と連携し、出前講座や学校教育等において実施する。



■水害リスク情報等の共有に向けた取組

水害リスクの周知促進のため、ハザードマップの周知及び県管理河川の浸水想定図作成に伴う周知の検討

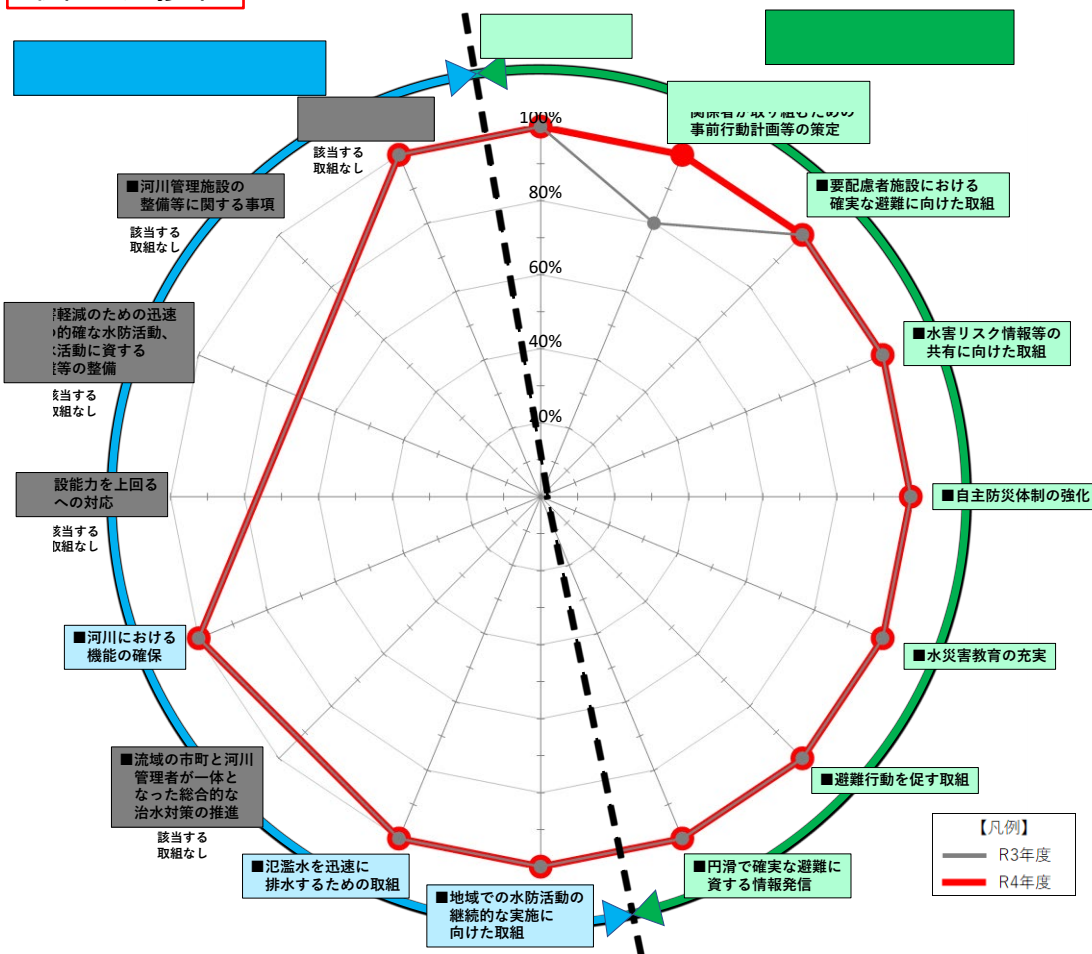
令和3年3月に作成した想定最大規模のハザードマップの市民の認識度向上と、県による浸水想定図の作成に伴う周知を図るため、出前講座等での周知を行うと同時に市民からの意見を基に、効果的な周知方法の検討を行う。



【森町】 取組報告 (R4の取組内容)

- 取組の進捗率は令和3年度時点で93%を達成し、令和4年度時点で98%に達し、体制を維持し更なる取組を実施している。
- 令和4年度は「自主防災会向けの訓練支援」や「出前講座による水害への備え」等に取り組んでいる。
- 今後、あらゆる機会を捉え、洪水、水害に対する水防意識の醸成を推進を継続実施していく。

取組の進捗率



● 主な取組内容 (R4年度)

○ 森町商工会女性部で防災講習会を実施

台風15号による被害状況の報告や家庭、商店における防災への備えと必要な基礎知識についての防災講座を実施。平常の備えや、発災時の行動について習熟を図った。



森町商工会女性部 防災講習会 (令和4年11月30日)

○ 黒田地区町内会で避難訓練を実施

自主防災会向けの豪雨の際の水害や土砂災害に対する避難訓練を実施。県職員による災害に対する取り組みの説明や消防団による避難支援、危険箇所の確認等を行った。



黒田町内会 防災講座 (令和4年6月5日)

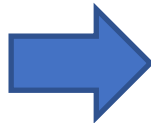
※R4年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●取組5カ年のロードマップ

項目		取組実績		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度～令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水・水害対応訓練の実施。避難発令マニュアルの見直し 等		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	初動対応マニュアルの見直し 等		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難計画の更新・訓練の干渉を実施	施設管理者への計画更新、訓練実施の推進 等	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	監視カメラに要望実施	河川管理者への監視カメラ増設、適所設置の要望 等	
	■ 自主防災体制の強化	地域の防災訓練時に講話を実施	水害リスクの高い地域等に対する情報提供、防災講座の実施 等	
	■ 水災害教育の充実	団体向け出前講座を実施	出前講座、セミナー、講習会の実施 等	
	■ 避難行動を促す取組	自主防災会への説明会を実施	自主防災会を対象とした説明会の実施 等	
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	ハザードマップ、防災ガイドブックの更新、マイタイムライン、わたしの避難計画の活用 等		
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防訓練への参加		
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	地元保有ポンプの修繕を実施	地元が有するポンプ等の情報把握	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進			
	■ 河川における機能の確保	土砂撤去や樹木伐採を実施	河道掘削及び支障木竹の伐採実施	
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策				

●令和5年度の取組予定

■ 河道における機能の確保 ・河川の河道掘削の実施



■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組 ・水防訓練の実施

